

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

浜医大医第4 号
令和 6 年 10 月 3 日
開設者名 国立大学法人浜松医科大学
学長 今野 弘之

浜松医科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和 年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒431-3192 静岡県浜松市中央区半田山一丁目20番1号
氏名	国立大学法人浜松医科大学 学長 今野弘之

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

浜松医科大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒431-3192 静岡県浜松市中央区半田山一丁目20番1号
電話(053) 435 - 2111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有		
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11リウマチ科
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科	
5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科	
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科		2小児科		3整形外科		4脳神経外科	
5皮膚科		6泌尿器科		7産婦人科		8産科	
9婦人科		10眼科		11耳鼻咽喉科		12放射線科	
13放射線診断科		14放射線治療科		15麻酔科		16救急科	

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科			
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	循環器科	2	神経科	3	心臓血管外科	4	リハビリテーション科	5	形成外科
6	病理診断科	7	小児外科	8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
37	0	0	0	576	613

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数	
医師	433	99	463.1	看護補助者	36	診療エックス線技師	0	
歯科医師	8	1	8.2	理学療法士	29	臨床検査 臨床検査技師	75	
薬剤師	48	0	48	作業療法士	16		衛生検査技師	0
保健師	0	1	0.3	視能訓練士	5		その他	0
助産師	45	3	47	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0	
看護師	769	42	798.7	臨床工学士	26	医療社会事業従事者	8	
准看護師	1	3	3	栄養士	0	その他の技術員	48	
歯科衛生士	4	0	4	歯科技工士	0	事務職員	195	
管理栄養士	12	1	13.5	診療放射線技師	48	その他の職員	14	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	64	眼科専門医	8
外科専門医	38	耳鼻咽喉科専門医	14
精神科専門医	10	放射線科専門医	17
小児科専門医	30	脳神経外科専門医	10
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	20
泌尿器科専門医	7	麻酔科専門医	29
産婦人科専門医	21	救急科専門医	4
		合計	280

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (松山 幸弘) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

- 平成26年4月1日から平成28年3月31日まで 医療安全管理室長(リスクマネジメント担当副病院長)
- 平成28年4月1日から平成30年3月31日まで 医療安全管理委員会委員長(病院長)
- 令和2年4月1日より医療安全管理委員会委員長(病院長)に就任
- 令和4年4月1日より医療安全管理委員会委員長(病院長)に再任

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	475.4 人	6.8 人	482.2 人
1日当たり平均外来患者数	1413.2 人	71.9 人	1485.1 人
1日当たり平均調剤数		811.5	剤
必要医師数		135.5	人
必要歯科医師数		5	人
必要薬剤師数		18	人
必要(准)看護師数		314	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	254.2 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	12 床 有 有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー	有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	316.5	m ²	病床数	24 床
	[移動式の場合]	台数	2	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	21		m ²	
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	413.17 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学・免疫全自動分析装置・全自動血液検査システム		
細菌検査室	174.7 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動細菌同定感受性装置・自動血液培養装置		
病理検査室	177.1 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動固定包埋装置・パラフィン包埋ブロック作成装置・マイクローム		
病理解剖室	46 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	排水滅菌システム・固定液作成装置・解剖台		
研究室	541.3 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	臨床情報検索データベースシステム		
講義室	195 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	100 人
図書室	61.2 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	9950 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	102.6	%	逆紹介率	70.9	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		14,584 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,167 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		3,008 人		
	D: 初診の患者の数		17,153 人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
熊田 恵介	岐阜大学医学部附属病院		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
坪佐 恭宏	静岡県立静岡がんセンター		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
小島 崇宏	大阪A & M法律事務所		法律に関する識見を有する者	有	1
大磯 義一郎	浜松医科大学		法律に関する識見を有する者	有	1
左右田 泰文	曹洞宗 瑞生寺		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
浜松医科大学医学部附属病院ホームページにて公表 https://www.hama-med.ac.jp/hos/about-us/iryuannzennkansa.html	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	1
取扱い患者数の合計(人)	1人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	0人
先進医療の種類合計数	1
取扱い患者数の合計(人)	1人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	3	167	マルファン症候群	6
2	筋萎縮性側索硬化症	16	168	エーラス・ダンロス症候群	1
3	脊髄性筋萎縮症	2	169	メンケス病	0
4	原発性側索硬化症	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
5	進行性核上性麻痺	11	171	ウィルソン病	0
6	パーキンソン病	157	172	低ホスファターゼ症	2
7	大脳皮質基底核変性症	0	173	VATER症候群	0
8	ハンチントン病	0	174	那須・ハコラ病	0
9	神経有棘赤血球症	0	175	ウィーバー症候群	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
11	重症筋無力症	39	177	ジューベル症候群関連疾患【旧:有馬症候群】	0
12	先天性筋無力症候群	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	46	179	ウィリアムズ症候群	0
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー	10	180	ATR-X症候群	0
15	封入体筋炎	1	181	クルーゾン症候群	0
16	クドウ・深瀬症候群	0	182	アペール症候群	0
17	多系統萎縮症	22	183	ファイファー症候群	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	33	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
19	ライソゾーム病	5	185	コフィン・シリズ症候群	0
20	副腎白質ジストロフィー	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
21	ミトコンドリア病	5	187	歌舞伎症候群	1
22	もやもや病	10	188	多脾症候群	0
23	プリオン病	0	189	無脾症候群	1
24	亜急性硬化性全脳炎	0	190	鰐耳腎症候群	1
25	進行性多発性白質脳症	1	191	ウィルナー症候群	0
26	HTL-1関連脊髄症	0	192	コケイン症候群	0
27	特発性基底核石灰症	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	3
28	全身性アミロイドーシス	37	194	ソトス症候群	0
29	ウルリッヒ病	0	195	ヌーナン症候群	0
30	遠位型ミオパチー	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
31	ベスレムミオパチー	1	197	1p36欠失症候群	0
32	自己食空性ミオパチー	0	198	4p欠失症候群	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	199	5p欠失症候群	0
34	神経線維腫症	23	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
35	天疱瘡	19	201	アンジェルマン症候群	0
36	表皮水疱症	0	202	スミス・マギニス症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	14	203	22q11.2欠失症候群	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	204	エマヌエル症候群	0
39	中毒性表皮壊死症	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
40	高安動脈炎	16	206	脆弱X症候群	0
41	巨細胞性動脈炎	7	207	総動脈幹遺残症	0
42	結節性多発動脈炎	10	208	修正大血管転位症	0
43	顕微鏡的多発血管炎	25	209	完全大血管転位症	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	18	210	単心室症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	211	左心低形成症候群	0
46	悪性関節リウマチ	12	212	三尖弁閉鎖症	0
47	パージャー病	3	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	7	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
49	全身性エリテマトーデス	185	215	ファロー四徴症	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	110	216	両大血管右室起始症	0
51	全身性強皮症	59	217	エプスタイン病	0
52	混合性結合組織病	23	218	アルポート症候群	1
53	シェーグレン症候群	33	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
54	成人スチル病	10	220	急速進行性糸球体腎炎	0
55	再発性多発軟骨炎	4	221	抗糸球体基底膜腎炎	0
56	ベーチェット病	44	222	一次性ネフローゼ症候群	37
57	特発性拡張型心筋症	45	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0
58	肥大型心筋症	30	224	紫斑病性腎炎	7
59	拘束型心筋症	0	225	先天性腎性尿崩症	0
60	再生不良性貧血	16	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3
61	自己免疫性溶血性貧血	3	227	オスラー病	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	228	閉塞性細気管支炎	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	31	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0

64	血栓性血小板減少性紫斑病	3	230	肺胞低換気症候群	0
65	原発性免疫不全症候群	5	231	1-アンチトリプシン欠乏症	0
66	IgA腎症	39	232	カーニー複合	0
67	多発性嚢胞腎	32	233	ウォルフラム症候群	0
68	黄色靱帯骨化症	19	234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0
69	後縦靱帯骨化症	94	235	副甲状腺機能低下症	1
70	広範脊柱管狭窄症	3	236	偽性副甲状腺機能低下症	0
71	特発性大腿骨頭壊死症	72	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
72	下垂体性ADH分泌異常症	16	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	7
73	下垂体性TSH分泌亢進症	2	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
74	下垂体性PRL分泌亢進症	22	240	フェニルケトン尿症	0
75	クッシング病	13	241	高チロシン血症1型	0
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	242	高チロシン血症2型	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	45	243	高チロシン血症3型	0
78	下垂体前葉機能低下症	145	244	メープルシロップ尿症	0
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	245	プロピオン酸血症	0
80	甲状腺ホルモン不応症	1	246	メチルマロン酸血症	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3	247	イソ吉草酸欠症	0
82	先天性副腎低形成症	0	248	グルコーストランスポーター1欠損症	0
83	アジソン病	0	249	グルタル酸血症1型	0
84	サルコイドーシス	75	250	グルタル酸血症2型	0
85	特発性間質性肺炎	102	251	尿素サイクル異常症	1
86	肺動脈性肺高血圧症	23	252	リジン尿性蛋白不耐症	0
87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1	253	先天性葉酸吸収不全	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	39	254	ポルフィリン症	0
89	リンパ脈管筋腫症	2	255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
90	網膜色素変性症	20	256	筋型糖原病	0
91	パッド・キアリ症候群	0	257	肝型糖原病	1
92	特発性門脈圧亢進症	0	258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
93	原発性胆汁性胆管炎	21	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
94	原発性硬化性胆管炎	5	260	シトステロール血症	0
95	自己免疫性肝炎	14	261	タンジール病	0
96	クローン病	211	262	原発性高カイロミクロン血症	0
97	潰瘍性大腸炎	263	263	脳腫黄色腫症	0
98	好酸球性消化管疾患	4	264	無リボタンパク血症	0
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2	265	脂肪萎縮症	1
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	266	家族性地中海熱	5
101	腸管神経節細胞減少症	0	267	高IgD症候群	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	268	中條・西村症候群	0
103	CFC症候群	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
104	コステロ症候群	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
105	チャージ症候群	0	271	強直性脊椎炎	8
106	クリオピリン関連周期熱症候群	1	272	進行性骨化性線維異形成症	0
107	若年性特発性関節炎(旧:全身型若年性特発性関節炎)	1	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
108	TNF受容体関連周期性症候群	0	274	骨形成不全症	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	275	タナトフォリック骨異形性症	0
110	ブラウ症候群	0	276	軟骨無形成症	3
111	先天性ミオパチー	3	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
113	筋ジストロフィー	12	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
114	非ジストロフィー性ミオトニ症候群	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	281	クリッペル・トレノネー・ウェバー症候群	1
116	アトピー性脊髄炎	1	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
117	脊髄空洞症	1	283	後天性赤芽球癆	1
118	脊髄髄膜瘤	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
119	アイザックス症候群	0	285	ファンコニ貧血	0
120	遺伝性ジストニア	1	286	遺伝性鉄芽救性貧血	0
121	神経フェリチン症	0	287	エプスタイン症候群	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症(自己免疫性後天性凝固第X因子欠乏症)	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣勢性白質脳症	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1

124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	291	ヒルシウスブルグ病(全結腸型又は小腸型)	0
126	ペリー症候群	0	292	総排泄腔外反症	0
127	前頭側頭葉変性症	0	293	総排泄腔遺残	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
130	先天性無痛無汗症	1	296	胆道閉鎖症	0
131	アレキサンダー病	0	297	アラジール症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	298	遺伝性膀胱炎	0
133	メビウス症候群	0	299	嚢胞性線維症	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	1	300	IgG4関連疾患	11
135	アイカルティ症候群	0	301	黄斑ジストロフィー	1
136	片側巨脳症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	1
137	限局性皮質異形成	0	303	アッシャー症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
139	先天性大脳白質形成不全症	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
140	ドラベ症候群	0	306	好酸球性副鼻腔炎	33
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	307	カナバン病	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	308	進行性白質脳症	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	309	進行性ミオクヌステんかん	0
144	レノックス・ガストー症候群	2	310	先天異常症候群	0
145	ウエスト症候群	1	311	先天性三尖弁狭窄症	0
146	大田原症候群	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	1
150	環状20番染色体症候群	0	316	カルニチン回路異常症	0
151	ラスムセン脳炎	0	317	三頭酵素欠損症	0
152	PCDH19関連症候群	0	318	シトリン欠損症	1
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
156	レット症候群	0	322	-ケトチオラーゼ欠損症	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
158	結節性硬化症	3	324	メチルグルタコン酸尿症	0
159	色素性乾皮症	2	325	遺伝性自己炎症疾患	0
160	先天性魚鱗癬	0	326	大理石骨病	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12	328	前眼部形成異常	0
163	特発性後天性全身性無汗症	14	329	無虹彩症	1
164	眼皮膚白皮症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症【旧:先天性気管狭窄症】	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	13
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
			334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
			339	MECP2重複症候群	0
			340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	0
			341	TRPV4異常症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	126
合計患者数(人)	2677

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・呼吸ケアチーム加算
・歯科外来診療感染対策加算3	・後発医薬品使用体制加算1
・特定機能病院入院基本料	・バイオ後続品使用体制加算
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・診療録管理体制加算3	・データ提出加算
・医師事務作業補助体制加算2	・入退院支援加算
・急性期看護補助体制加算	・認知症ケア加算
・看護職員夜間配置加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・看護補助加算	・精神疾患診療体制加算
・療養環境加算	・精神科急性期医師配置加算
・重症者等療養環境特別加算	・地域医療体制確保加算
・無菌治療室管理加算1	・特定集中治療室管理料2
・無菌治療室管理加算2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による治療の場合)	・新生児特定集中治療室管理料1
・緩和ケア診療加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・外来腫瘍化学療法診療料1
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・連携充実加算
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・ニコチン依存症管理料
・糖尿病合併症管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・開放型病院共同指導料
・がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	・がん治療連携計画策定料
・がん患者指導管理料イ	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん患者指導管理料ロ	・薬剤管理指導料
・がん患者指導管理料ハ	・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
・がん患者指導管理料ニ	・医療機器安全管理料1
・外来緩和ケア管理料	・医療機器安全管理料2
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・医療機器安全管理料(歯科)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・歯科治療時医療管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・婦人科特定疾患治療管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・腎代替療法指導管理料	・遺伝学的検査の注1規定する施設基準
・一般不妊治療管理料	・遺伝学的検査の注2に規定する施設基準
・生殖補助医療管理料1	・染色体検査の注2に規定する基準
・二次性骨折予防継続管理料1	・骨髄微小残存病変量測定
・二次性骨折予防継続管理料3	・BRCA1/2遺伝子検査
・下肢創傷処置管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・院内トリアージ実施料	・先天性代謝異常症検査
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・外来放射線照射診療料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・冠動脈CT撮影加算
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	・心臓MRI撮影加算
・検体検査管理加算()	・乳房MRI撮影加算
・国際標準検査管理加算	・頭部MRI撮影加算
・遺伝カウンセリング加算	・肝エラストグラフィ加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・外来化学療法加算1
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・無菌製剤処理料
・胎児心エコー法	・心大血管疾患リハビリテーション料()
・ヘッドアップティルト試験	・脳血管疾患等リハビリテーション料()
・人工臓器検査、人工臓器療法	・運動器リハビリテーション料()
・長期継続頭蓋内脳波検査	・呼吸器リハビリテーション料()
・神経学的検査	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2
・補聴器適合検査	・がん患者リハビリテーション料
・全視野精密網膜電図	・リンパ浮腫複合的治療料
・ロービジョン検査判断料	・集団コミュニケーション療法料
・小児食物アレルギー負荷検査	・歯科口腔リハビリテーション料2
・内服・点滴誘発試験	・通院・在宅精神療法の注4に規定する児童思春期精神科専門管理加算
・CT透視下気管支鏡検査加算	・認知療法・認知行動療法1
・経気管支凍結生検法	・精神科作業療法
・画像診断管理加算1	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・画像診断管理加算4	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・多血小板血漿処置
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・CT撮影及びMRI撮影	・エタノールの局所注入(副甲状腺)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工腎臓	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・耳管用補綴材挿入術
・移植後抗体関連拒絶反応治療における血漿交換療法	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術(型(拡大副鼻腔手術)鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。))
・手術用顕微鏡加算	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・皮膚移植術(死体)	・乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・自家脂肪注入	・乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・後縦韌帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・椎間板内酵素注入療法	・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
・角結膜悪性腫瘍切除術	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・胸腔鏡下弁形成術
・羊膜移植術	・胸腔鏡下弁置換術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)
・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))	・経皮的僧帽弁クリップ術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・磁気ナビゲーション加算	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・同種死体腎移植術
・補助人工心臓	・生体腎移植術
・経皮的下肢動脈形成術	・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・精巣内精子採取術
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下胃縮小術	・腹腔鏡下仙骨腔固定術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下肝切除術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・体外衝撃波膵石破碎術	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・体外式膜型人工肺管理料	・定位放射線治療
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・画像誘導密封小線源治療加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・再製造単回使用医療機器使用加算	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による 術中迅速病理組織標本作製
・輸血管理料	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による 迅速細胞診
・輸血適正使用加算	・病理診断管理加算2
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・コーディネート体制充実加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・自己生体組織接着剤作成術	・看護職員処遇改善評価料71
・自己クリオプレシビート作製術(用手法)	・外来・在宅ベースアップ評価料()
・同種クリオプレシビート作製術	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料()
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・入院ベースアップ評価料80
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・歯根端切除手術の注3	・
・麻酔管理料()	・
・麻酔管理料()	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・一回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二 年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理部: 臨床研修CPC(病理診断科主催) 7回, CPC・PMC(病理学講座主催) 7回, 小児がんカンファレンス(小児科主催) 12回 検査部: 血液内科カンファレンス(週1回)、ハートチーム(TAVI)・循環器内科カンファレンス(週1回)、精度管理に関する症例検討会(内部精度管理報告会: 月1回)	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	10
	剖検率(%)	3.1

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(で囲む等)こ

(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
羊水塞栓症の遺伝的リスク背景ならびに発症機序の解明:新たな治療戦略を目指して	伊東 宏晃	産婦人科学講座	4,290,000	補 ○ 委	日本学術振興会
自閉症中核症状の新規治療シーズ創出:RCTベースの多層オミクスと検証的動物実験	山末 英典	精神医学講座	5,820,000	補 ○ 委	日本学術振興会
ヒューマン免疫ロジックを基軸としたアトピー性皮膚炎免疫病態の統合的理解	本田 哲也	皮膚科学講座	5,200,000	補 ○ 委	日本学術振興会
ハイブリッドフローサイトメーターによる血中循環腫瘍細胞の新規質的診断法の開発	竹内 裕也	外科学第二講座	5,850,000	補 ○ 委	日本学術振興会
脳腫瘍治療の新フェーズ:脱落乳歯歯髄幹細胞を用いた遺伝子細胞療法の開発	黒住 和彦	脳神経外科学講座	5,330,000	補 ○ 委	日本学術振興会
HPV感染の可視化から多様性獲得の解明によって切り拓く新規癌治療法の開発	三澤 清	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	11,050,000	補 ○ 委	日本学術振興会
妊婦のエネルギー摂取不足に起因する成長後の児の脂肪肝発症リスク軽減を目指して	幸村 友季子	産婦人科学講座	1,040,000	補 ○ 委	日本学術振興会
自然免疫応答を介した蝸牛内炎症により生じる難聴の病態およびメカニズム解明	中西 啓	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	780,000	補 ○ 委	日本学術振興会
若年者の後天共同性内斜視の原因と治療に関する研究	佐藤 美保	眼科学講座	520,000	補 ○ 委	日本学術振興会
わが国の難治性未診断眼疾患に対する新しい疾患概念の確立と診断法の開発に関する研究	堀田 喜裕	眼科学講座	1,040,000	補 ○ 委	日本学術振興会
がん病態時における末梢性μオピオイド受容体拮抗薬による臨床効果の個人差要因の解明	川上 純一	薬剤部	1,170,000	補 ○ 委	日本学術振興会
大腸上皮細胞を介したIL-22とIL-33のクロストークが粘膜免疫へ及ぼす影響	杉本 健	内科学第一講座	1,040,000	補 ○ 委	日本学術振興会

低温誘導性RNA結合タンパクを基軸とした肺線維症の病態解明と新規治療の開発	穂積 宏尚	内科学第二講座	1,170,000	補委	日本学術振興会
アクアポリン2を介した甲状腺ホルモンの体液調節機構の研究	松下 明生	第二内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
腹部大動脈瘤壁の脈管新生の影響から導くPDE阻害薬の動脈瘤増大・破裂予防への応用	犬塚 和徳	第二外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
人工心肺中における脳梗塞の病態の解明:水素ガスによる二次性脳損傷予防	大橋 雅彦	麻酔・蘇生学講座	910,000	補委	日本学術振興会
不眠に伴う恐怖記憶定着と循環障害への免疫監視機構関与と麻酔薬修飾効果に関する研究	木下 浩之	麻酔・蘇生学講座	910,000	補委	日本学術振興会
シンデカンノックアウトラットにおける敗血症性脳障害の機序の解明	中島 芳樹	麻酔・蘇生学講座	910,000	補委	日本学術振興会
ミトコンドリア画像による視床下核脳深部刺激術後のパーキンソン病変性予防効果解析	野崎 孝雄	脳神経外科	130,000	補委	日本学術振興会
腎癌のIO drugおよびTKI併用療法に対する耐性獲得機構解明と新規治療法開発	三宅 秀明	泌尿器科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会
羊水塞栓症の病態解明のための全身主要臓器の特異的反応の検討	田村 直顕	周産母子センター	1,300,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌における血中循環RNA修飾網羅的解析について	山田 大貴	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	520,000	補委	日本学術振興会
糖尿病性腎臓病患者における身体活動量からみた腎機能低下機序の解明:新たな治療戦略	平野 裕真	リハビリテーション部	520,000	補委	日本学術振興会
近赤外光による3次元画像再構成アルゴリズム構築と乳癌の新規バイオマーカーの創生	芳澤 暢子	放射線科診療科	1,040,000	補委	日本学術振興会
神経性やせ症の感情調節と脳の機能不全に対するMANTRAの有効性の検討	磯部 智代	精神科神経科	1,560,000	補委	日本学術振興会

小児腫瘍患児の精神的苦痛と家族機能に対するアドバンス・ケア・プランニングの有効性	遠藤 ゆうな	精神科神経科	1,040,000	補委	日本学術振興会
免疫老化機構からの原発性胆汁性胆管炎の病態解明と新規治療基盤の創出	伊藤 潤	第二内科	910,000	補委	日本学術振興会
ニコチン受容体機能に着目した注意欠如・多動症の病態解明:PETによる検討	藤田 宏治	精神科神経科	1,560,000	補委	日本学術振興会
神経性やせ症におけるシナプス密度とミトコンドリア機能異常:PETによる検討	横倉 正倫	精神医学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会
不安を伴ううつ病の病態解明:PETによる疾患横断的検討と次世代治療シーズの創出	亀野 陽亮	精神医学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会
神経性やせ症と強迫症の機能的 / 解剖学的ネットワーク障害 - 疾患横断的な病態解明 -	竹林 淳和	精神科神経科	1,690,000	補委	日本学術振興会
Abbreviated MRIを用いた大腸癌肝転移検索アルゴリズムの開発	市川 新太郎	放射線診断学講座	650,000	補委	日本学術振興会
超偏極MRI技術を用いた転移性肝がん超早期診断モデルの開発	五島 聡	放射線診断学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会
早産低出生体重児における動脈硬化前病変進展メカニズムの解明	石川 貴充	小児科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会
MAFLD合併原発性胆汁性胆管炎の病態解明と新規治療法の構築	川田 一仁	内科学第二講座	1,300,000	補委	日本学術振興会
免疫監視機構に着目したインテグリン阻害剤によるNASH肝癌の新規治療戦略の創出	則武 秀尚	内科学第二講座	1,040,000	補委	日本学術振興会
MSI変異随伴スプライシング異常による大腸がん薬物療法の感受性変化	岩泉 守哉	検査部	1,430,000	補委	日本学術振興会
出血刺激に対するマクロファージの炎症反応応答と冠動脈プラーク進行の病態解明	坂本 篤志	内科学第三講座	1,040,000	補委	日本学術振興会

個別化医療に向けた脂肪酸代謝に焦点をあてた肥大型心筋症の病因解明	前川 裕一郎	内科学第三講座	1,040,000	補 委	日本学術 振興会
肥満による線毛機能障害に着目したウイルス性呼吸器感染症重症化の制御法の開発	藤澤 朋幸	第二内科	1,300,000	補 委	日本学術 振興会
109分子による樹状細胞を標的としたアレルギー炎症制御	鈴木 勇三	内科学第二	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
運動のコリン作動性抗炎症反応経路を介し腎臓内RAS抑制による腎障害改善機序の検証	大橋 温	卒後教育センター	1,560,000	補 委	日本学術 振興会
エイコサペンタエン酸のTGF- β 1抑制作用に着目したリンパ浮腫薬物療法の開発	佐野 真規	第二外科	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
Type2 サイトカイン関連皮膚疾患におけるガレクチン-7の生理機能の解明	島内 隆寿	皮膚科	1,560,000	補 委	日本学術 振興会
薬疹における皮膚レジデントメモリーT細胞関与の解明	藤山 俊晴	皮膚科	910,000	補 委	日本学術 振興会
定常状態および炎症下における皮膚自然リンパ球の制御メカニズム	坂本 慶子	皮膚科	1,170,000	補 委	日本学術 振興会
環境中アレルゲン除去による食物アレルギーの発症予防・治療	夏目 統	小児科学講座	130,000	補 委	日本学術 振興会
重症インフルエンザ肺炎におけるウイルス特異的応答と好酸球死誘導	宮入 烈	小児科学講座	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
甲状腺ホルモンによる負の転写調節からみたバセドウ病の病因解明と治療戦略の探索	佐々木 茂和	第二内科	910,000	補 委	日本学術 振興会
新生児壊死性腸炎の新たな病因および治療:消化管サーファクタントの関与の検討	澤井 利夫	小児外科	1,170,000	補 委	日本学術 振興会
小腸移植における補体因子C5a阻害効果の解明と治療応用を目指した研究	當山 千巖	小児外科	1,170,000	補 委	日本学術 振興会

出血性ショックにおけるミトコンドリア酸化ストレスに注目したグリコカリックス保護	御室 総一郎	集中治療部	1,820,000	補委	日本学術振興会
レミゾラム投与によるマウスのせん妄表現調査と時計遺伝子Per2の検証	青木 善孝	集中治療部	910,000	補委	日本学術振興会
長時間持続投与時のレミゾラム血中濃度推移の薬物動態の解明	鈴木 祐二	集中治療部	1,950,000	補委	日本学術振興会
敗血症によって起こる血流変化と各重要臓器障害を起こす病態の解明	川島 信吾	麻酔・蘇生学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会
敗血症におけるミトコンドリア由来の酸化ストレスの制御によるグリコカリックス保護	八木原 正浩	麻酔科蘇生科	1,430,000	補委	日本学術振興会
悪性脳腫瘍に対するヒト脱落乳歯歯髄幹細胞を用いた新規腫瘍溶解ウイルス療法	小泉 慎一郎	脳神経外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
胎児血液中の脂質プロファイルが胎盤発達と乳児の身体及び神経発達に及ぼす影響	谷口 千津子	医師トータルサポートセンター	1,040,000	補委	日本学術振興会
帝王切開時の分娩後出血を減らす - オキシトシン子宮筋注の子宮収縮維持効果の解析	成瀬 智	周産母子センター	1,040,000	補委	日本学術振興会
HPV関連中咽頭癌の転写制御異常に基づく層別化と治療標的の解明	新村 大地	耳鼻咽喉科	390,000	補委	日本学術振興会
ナノスーツ-CLEM法によるHPV関連鼻副鼻腔内反性乳頭腫の悪性転化機構の解明	石川 竜司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会
血管吻合用金属ステントとファイバーレーザー照射による微小血管吻合術の研究	中川 雅裕	形成外科	1,170,000	補委	日本学術振興会
X染色体活性化状態に注目した女性口腔がんの新たな予後診断法の確立	増本 一真	歯科口腔外科学講座	910,000	補委	日本学術振興会
高度肥満症における運動昇圧反射特性の解明および肥満減量手術による効果の検討	永房 鉄之	リハビリテーション部	260,000	補委	日本学術振興会

中性脂肪蓄積心筋血管症診療の鍵となる、血液による簡便なスクリーニング検査法の開発	鈴木 朗	検査部	1,820,000	補 委	日本学術 振興会
自閉スペクトラム症におけるシナプス密度と興奮抑制バランス不均衡の関係	山口 静乃	精神科神経科	2,210,000	補 委	日本学術 振興会
切除不能進行肝細胞癌のコンパニオン診断:マルチパラメトリックMRIによるアプローチ	尾崎 公美	放射線科診療科	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
心筋ミトコンドリア機能障害によるアントラサイクリン誘発性心筋症の発症予測	水野 雄介	第三内科	4,160,000	補 委	日本学術 振興会
心筋梗塞後致死性イベントの新たな危険因子の探索	成瀬 代士久	内科学第三講座	1,820,000	補 委	日本学術 振興会
線維化解除をターゲットとした肺線維化病態の解明と創薬への展開	乾 直輝	臨床薬理学講座	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
真菌関連アレルギー性気道疾患における獲得免疫誘導の仕組みの解明と制御法の開発	古橋 一樹	感染制御センター	1,820,000	補 委	日本学術 振興会
円形脱毛症の難治化におけるresident memory T細胞の関わりと新規治療の展開	伊藤 泰介	皮膚科学講座	2,210,000	補 委	日本学術 振興会
治療前後の比較解析を通じた特異性後天性全身性無汗症の新規病態形成機序の解明	影山 玲子	皮膚科学講座	1,040,000	補 委	日本学術 振興会
アナフィラキシー様反応を中心とした病態に基づく羊水塞栓症の急性期治療の探索	磯村 直美	産科婦人科	1,560,000	補 委	日本学術 振興会
敗血症性ショックによるグリコカリックス障害に対する硫化水素の効果研究	鈴木 興太	麻酔科蘇生科	2,470,000	補 委	日本学術 振興会
細胞小器官脂質解析によるIDH変異神経膠腫の悪性化機序の解明と治療標的分子の探索	山崎 友裕	脳神経外科学講座	1,690,000	補 委	日本学術 振興会
レスベラトロールを用いたプレバイオティクスによる脳動脈瘤形成・破裂抑制の検討	平松 久弥	脳神経外科	1,820,000	補 委	日本学術 振興会

糖鎖生物学に注目した子宮体がん悪性化機構の解明とそのトランスレーショナルリサーチ	柴田 俊章	産科婦人科	1,820,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌のエクソソーム、ctDNAの統合解析によるモニタリングシステムの確立	今井 篤志	耳鼻咽喉科	2,210,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌におけるRNA修飾とRNA編集のメカニズム解明	竹内 一隆	耳鼻咽喉科	3,770,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌における環状RNA解析及びバイオマーカー探索	望月 大極	耳鼻咽喉科	3,640,000	補委	日本学術振興会
最新のインフォマティクス解析による若年発症網膜ジストロフィの分子基盤の解明	鳥居 薫子	眼科	1,950,000	補委	日本学術振興会
胎生期低栄養による易肥満体質獲得機序の解析	伊藤 敏谷	周産母子センター	780,000	補委	日本学術振興会
4D flow MRIによる血流解析を利用した、心筋梗塞に伴う左室内血栓症の予測	諏訪 賢一郎	内科学第三講座	130,000	補委	日本学術振興会
脳動脈瘤破裂における脳動脈瘤壁への鉄集積の役割	神尾 佳宣	脳神経外科	260,000	補委	日本学術振興会
ステロイド筋症を非侵襲的に捉えるための表面筋電図の応用	長島 正明	リハビリテーション部	130,000	補委	日本学術振興会
白血病細胞のin vitro薬剤感受性に影響を及ぼす因子の網羅的分子遺伝学的解析	清水 大輔	小児科	1,690,000	補委	日本学術振興会
性分化疾患・生殖機能障害における葉酸とメチル化変動の関係	小野 裕之	小児科	1,040,000	補委	日本学術振興会
動脈硬化マウスを用いたCOPDモデルの作成とCOPDの新規治療戦略の確立に向けて	安井 秀樹	臨床研究センター	1,300,000	補委	日本学術振興会
IL411-Trp代謝経路による悪性黒色腫に対する腫瘍免疫抑制の機序の解明	福地 健祐	皮膚科	780,000	補委	日本学術振興会

腸管筋線維芽細胞を標的とした腸炎関連性発がんの新規診断マーカー、治療法の探索	川村 崇文	外科学第二講座	1,430,000	補委	日本学術振興会
4D-flow MRIを用いたステントグラフト術後瘤径拡大の新しい予測法の開発	片橋 一人	感染対策室	1,040,000	補委	日本学術振興会
組織酸素飽和度測定器による重症虚血肢に対する必要十分な術中戦略の確立	嘉山 貴文	外科学第二講座	520,000	補委	日本学術振興会
がん悪液質の病態時におけるCYP3A活性の定量評価とグレリン様作用薬の影響の解明	佐藤 聖	薬剤部	1,430,000	補委	日本学術振興会
膵臓癌における脂質メディエーターによる増殖機構の解明と新規治療標的の探索	武田 真	外科学第二講座	1,560,000	補委	日本学術振興会
がん関連線維芽細胞に発現するUBL3の非小細胞肺癌増殖・浸潤への寄与検証	高梨 裕典	第一外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
自閉症におけるシナプス密度とミトコンドリア機能異常について:PETによる検討	加藤 康彦	精神医学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会
医用画像を用いたRadiomicアプローチによる肝細胞癌治療効果予測モデルの開発	棚橋 裕吉	放射線科診療科	780,000	補委	日本学術振興会
GILZによる抗炎症性腹腔マクロファージの誘導と腸管粘膜免疫機構の制御	田村 智	内科学第一講座	1,430,000	補委	日本学術振興会
クッシング病におけるUSP48遺伝子変異の実態ならびに新規治療機序の解明	柿沢 圭亮	第二内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
碎石位手術における周術期合併症予防のための至適術中体位の確立	鈴木 雄飛	外科学第二講座	1,300,000	補委	日本学術振興会
腫瘍免疫の低下したcold tumorの化学療法耐性機序の解明と新規治療法の開発	村上 智洋	第二外科	1,820,000	補委	日本学術振興会
潰瘍性大腸炎におけるADAMTS13を介した血栓形成機序解明及び新規治療法の確立	阪田 麻裕	外科学第二講座	1,300,000	補委	日本学術振興会

下肢閉塞性動脈硬化症・包括的高度慢性下肢虚血切断肢における動脈の病理学的検討	夏目 佳代子	外科学第一講座	1,170,000	補委	日本学術振興会
アナフィラキシーにおける血管内皮障害のリアルタイム観察と制御法の探索	小林 賢輔	麻酔科蘇生科	1,300,000	補委	日本学術振興会
羊水塞栓症発症リスクの因子の探索	松家 まどか	産科婦人科	1,430,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌における免疫治療抵抗性バイオマーカーの探索	三澤 由幾	耳鼻咽喉科	1,430,000	補委	日本学術振興会
MRONJ外科療法へのICG蛍光法の応用	林 祐太郎	歯科口腔外科学講座	260,000	補委	日本学術振興会
肺扁平上皮癌、頭頸部扁平上皮癌の脂質、蛋白質オミクス解析による鑑別マーカーの探索	川瀬 晃和	外科学第一講座	1,040,000	補委	日本学術振興会
経頭蓋直流電気刺激による脳内セロトニン放出：認知症性疾患治療に向けたPET研究	武内 智康	脳神経内科	2,340,000	補委	日本学術振興会
AIを活用したゲノム解析とRNA解析による神経発達症の新規遺伝学的解析スキームの創造	平出 拓也	小児科	2,340,000	補委	日本学術振興会
細胞形質分化プログラムの破綻を機序とする小細胞肺がんの新規治療戦略の確立	井上 裕介	第二内科	2,080,000	補委	日本学術振興会
CPGモチーフを含むDNAによる急性腎障害後の肺障害軽減効果の検討	後藤 大樹	第一内科	3,510,000	補委	日本学術振興会
アトピー性皮膚炎病変部における病原性T細胞の活性化機構と生理的意義の解明	栗原 和生	皮膚科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会
せん妄の解決に向けた麻酔による概日リズム内的脱同調の証明	今井 亮	手術部	1,040,000	補委	日本学術振興会
In vitro共培養モデルを用いた膵癌神経周囲浸潤における因子の解明	古橋 暁	外科学第二講座	1,430,000	補委	日本学術振興会

新しい解析手法を用いたマルチオミクス解析による知的障害/発達遅滞発症機序の解明	平出 拓也	小児科	1,430,000	補委	日本学術振興会
悪性腫瘍に対する新規超音波発光療法の開発	中村 和正	放射線腫瘍学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチ患者における血中トシズマブ濃度とOATP1B1輸送能の関係性解析	望月 啓志	薬剤部	480,000	補委	日本学術振興会
アプレピタント及びサブスタンスP濃度に着目した制吐効果の個人差要因の解明	鈴木 祐介	薬剤部	480,000	補委	日本学術振興会
血液脳関門破綻に注目したペランパネルの薬物動態解析と投与方法の確立	山口 れな	薬剤部	480,000	補委	日本学術振興会
機能障がいにも焦点をあてた神経発達症の診断体系の再構成	土屋 賢治	子どものこころの発達研究センター	13,440,255	補委	日本学術振興会
重症筋無力症根治に向けた革新的創薬基盤の構築	清水 広介	分子病態イメージング研究室	4,680,000	補委	日本学術振興会
線溶制御系破綻時の血栓溶解過程のイメージング解析と検査法の確立による病態解明	浦野 哲盟	薬理学講座	3,380,000	補委	日本学術振興会
ゲノムの非コード領域に注目した小児脳神経疾患の新規発症機序の解明	才津 浩智	医化学講座	7,410,000	補委	日本学術振興会
GABAシナプス機能へのアストロサイトの能動的関与とその破綻:時空間的動態と病態	福田 敦夫	医化学講座	3,770,000	補委	日本学術振興会
ASTN1遺伝子変異に起因する脳形成障害の疾患病態解明	中島 光子	医化学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会
SETによるB型肝炎ウイルス再活性化機構の解析	伊藤 昌彦	微生物学・免疫学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会
周産期大脳神経細胞に特異的なサイトメガロウイルス持続感染と脳障害発生機構の解析	小杉 伊三夫	微生物学・免疫学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会

大動脈瘤器質化血栓の特異な形成機序:線溶異常の観点から	田中 宏樹	医生理学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会
脳動脈留破裂における危険因子としての高病原性う蝕原因菌による破裂メカニズム解明	梅村 和夫	薬理学講座	780,000	補委	日本学術振興会
自閉スペクトラム特性の産前リスク因子と酸化ストレス:出生コホートMRS研究	岩淵 俊樹	子どものこころの発達研究センター	1,430,000	補委	日本学術振興会
SAC3D1による中心体複製制御:乳癌悪性進展モデルの構築と悪性度マーカーの開発	酒井 康弘	腫瘍病理学講座	11,794	補委	日本学術振興会
ALS発症におけるOPTNの新規核内機能:スプライソーム異常と凝集体形成	大坪 正史	フォトニクス医学研究部	1,430,000	補委	日本学術振興会
母体の不十分な妊娠中体重増加量(GWG)と児の神経発達後の関連	中安 智香子	子どものこころの発達研究センター	1,430,000	補委	日本学術振興会
量子マテリアルを放射線増感剤として利用した量子増感放射線療法の開発	荒牧 修平	細胞分子解剖学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会
社会性障害の克服を目指したオキシトシン神経系受容体の特異的画像化法開発	鈴木 千恵	分子病態イメージング研究室	1,820,000	補委	日本学術振興会
止血血栓安定化機構とその破綻による病態のリアルタイムイメージング解析	鈴木 優子	医生理学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会
Cancer neuroscienceに基づいた膵癌の新規治療法開発	森田 剛文	森町地域包括ケア講座(寄附講座)	1,300,000	補委	日本学術振興会
解離性同一性障害の回復プロセス 多重な自己の機能的統合プロセスの検討-	井上 淳	児童青年期精神医学講座(寄附講座)	2,080,000	補委	日本学術振興会
てんかん性脳症モデルマウスを用いた脳神経シナプス小胞、リソソームの機能解析	青戸 一司	医化学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会
神経筋疾患の筋組織脂肪化の脂質組成イメージングと病理メカニズムの推定	長島 優	光生体医工学研究室	3,380,000	補委	日本学術振興会

アルツハイマー病におけるGABA作動異常と一次繊毛機能の関連性の解明	王 天英	生体機能イメージング研究室	1,560,000	補委	日本学術振興会
脂肪酸合成酵素の産生量を標的とした阻害剤開発とNASH病態下における機能解明	佐藤 伸哉	微生物学・免疫学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会
エクソソームプロテオーム解析による肝筋型糖原病組織障害病態とバイオマーカーの研究	福田 冬季子	浜松成育医療学講座(寄附講座)	2,340,000	補委	日本学術振興会
高コレステロール血症が脳動脈破裂におよぼす因果関係とそのメカニズムの解明	外村 和也	臨床医学教育学講座(寄附講座)	910,000	補委	日本学術振興会
自閉症者の社会的動機付け:脳機能実験とウェブ実験を用いた計算論的精神医学研究	角谷 基文	子どものこころの発達研究センター	910,000	補委	日本学術振興会
Interaction of genetic risk and early body mass index changes on neurodevelopmental disorders among Japanese children	Rahman Md. Shafiur	子どものこころの発達研究センター	650,000	補委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症における短絡的連合によるトラウマ記憶形成メカニズムの解明	川上 澄香	子どものこころの発達研究センター	1,170,000	補委	日本学術振興会
KISS1R 機能亢進変異が中枢性思春期症発症を招くメカニズムの解明	増永 陽平	地域医療支援学講座(寄附講座)	1,560,000	補委	日本学術振興会
先天性気管狭窄症における遺伝学的原因の探索	矢本 香織	医化学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹水の迅速診断を可能にする脱塩質量分析技術の確立	佐藤 智仁	細胞分子解剖学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症児における幾何学模様への注視行動と局所処理優勢さの関係	須田 桃香	子どものこころの発達研究センター	1,300,000	補委	日本学術振興会
両X染色体活性化を介した女性腫瘍の悪性化機構の解明と治療への応用	北川 雅敏	分子生物学講座	5,200,000	補委	日本学術振興会
脳画像を基盤とする認知症血液バイオマーカーの国際検証研究	尾内 康臣	生体機能イメージング研究室	5,330,000	補委	日本学術振興会

先天性指趾/四肢形成不全症を招く遺伝学的機序の解明	矢本 香織	医化学講座	1,300,000	補 委	日本学術 振興会
災害時の保健・医療・福祉及び防災分野の情報集約及び対応体制における連携推進のための研究	尾島 俊之	健康社会医学講座	15,300,000	補 委	厚生労働 省
保健所における健康危機管理対応の推進等に関する研究	尾島 俊之	健康社会医学講座	8,800,000	補 委	厚生労働 省
びまん性肺疾患に関する調査研究	須田 隆文	内科学第二講座	24,000,000	補 委	厚生労働 省
小児領域を含む薬剤耐性感染症対策に係る地域間連携の標準モデルの策定・推進に資する研究	宮入 烈	小児科学講座	5,000,000	補 委	厚生労働 省
神経変性疾患治療薬の検証	瀬藤 光利	細胞分子解剖学講座	2,046,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
パーキンソン病患者のすくみ足症状を改善する実時間サイバーフィジカルシステム型ウェアラブル装置の開発	長島 優	光生体医工学研究室	21,667,100	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
発達障がいと疑われる小児に対する新しい診断的評価～開発から社会実装へ	土屋 賢治	子どものこころの発達 研究センター	13,000,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
インプリンティング疾患の診療ガイドライン作成に向けたエビデンス創出研究	緒方 勤	医化学講座	13,000,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
細胞およびマウスモデルを用いたRhoBTB2関連神経発達症の分子病態解明と疾患概念の確立	才津 浩智	医化学講座	13,000,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
非病変蛋白脳画像と液性バイオマーカーを取り入れた早期認知症の層別化研究	尾内 康臣	生体機能イメージング 研究室	49,400,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
International Study for Treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010(IntReALL SR 2010) 第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第III相国際共同臨床研究	坂口 公祥	小児科学講座	0	補 委	国立大学法人 三重大学医学 部附属病院 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療セ ンター
高リスク筋層非浸潤性膀胱癌に対するPDD-TURによる残存腫瘍減少効果の検討	三宅 秀明	泌尿器科学講座	0	補 委	国立大学法人 山口大学

EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌におけるアファチニブからオシメルチニブへの逐次投与の有効性を評価する多施設共同前向き観察研究(Gio-Tag Japan)	須田 隆文	内科学第二講座		0	補 委	宝塚市立病院
Epidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive (EGFRm+) 進行非小細胞肺癌 (NSCLC) 初回オシメルチニブ治療の効果、安全性及び増悪後の治療に関する観察研究-Reiwa-	須田 隆文	内科学第二講座		0	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
非小細胞肺癌におけるフルルビプロフェンアキセチル周術期投与による術後再発予防効果を検証するための多施設共同ランダム化第II相比較試験 (FLAX試験)	船井 和仁	外科学第一講座		0	補 委	国立病院機構横浜医療センター
間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究	須田 隆文	内科学第二講座		0	補 委	国立大学法人東海国立大学機構 (名古屋大学)
高中性脂肪血症を合併した冠動脈疾患を対象としたベマフィブラートの冠動脈プラークの退縮に及ぼす影響を検討する無作為化非盲検群間比較試験	前川 裕一郎	内科学第三講座		0	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
食物アレルギーの長期予後と予後予測因子を解明するバイオマーカーの検討	夏目 統	小児科学講座		0	補 委	国立病院機構三重病院
ヨード密度値を用いたHistogram analysisによる膵臓癌化学療法治療効果予測に関する研究	五島 聡	放射線診断学・核医学講座		0	補 委	国立大学法人東海国立大学機構
心不全増悪入院患者におけるアンジオテンシン・ネプリアイシン阻害薬の研究 (PREMIER study)	前川 裕一郎	内科学第三講座	400,000	0	補 委	国立大学法人佐賀大学医学部附属病院
間質性肺疾患合併多発性筋炎/皮膚筋炎患者を対象とした肺病変の進行を規定するバイオマーカー探索研究	穂積 宏尚	内科学第二講座		0	補 委	国立大学法人長崎大学
高TG血症合併NAFLDに対するベマフィブラート、フェノフィブラートの無作為化比較試験 - 多施設共同、オープン試験 -	川田 一仁	第二内科		0	補 委	公立大学法人横浜市立大学
起業活動支援およびアントレプレナーシップ教育の場で使用するケーススタディ教材の製作と講義・実習	天野 優子	産学連携・知財活用推進センター		0	補 委	公益財団法人医療機器センター
日本における関節リウマチ患者の生物学的製剤効果不十分例に対するベフィシチニブへの切り替え効果を調査する後ろ向きチャートレビュー研究	小川 法良	第三内科	16,500	0	補 委	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
循環器疾患診療実態調査 (JROAD) のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究 (MYSTICS)	前川 裕一郎	内科学第三講座		27,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター

慢性骨髄性白血病におけるチロシンキナーゼ阻害剤との長期併用時のTM5614の安全性・有効性を検証する第 Ⅰ相試験	小野 孝明	輸血・細胞治療部		0	補 委	国立大学法人 東北大学
転移性去勢抵抗性前立腺癌に対するアバルタミドの有効性・安全性の評価を目的とした多施設共同単群試験	三宅 秀明	泌尿器科学講座		1,650,000	補 委	国立大学法人 神戸大学
転移性尿路上皮がんに対する逐次薬物利用におけるリキッドバイオプシーの有用性を検討する多施設共同前向き観察研究	三宅 秀明	泌尿器科学講座		0	補 委	国立大学法人 筑波大学
ネフローゼ型膜性腎症に対するリツキシマブ(遺伝子組換え)の有効性及び安全性を検証する多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検並行群間比較試験	安田 日出夫	内科学第一講座		1,000,000	補 委	国立大学 法人東海 国立大学 機構
胃癌のCT画像を用いた深層学習による胃癌診断と臨床転帰の予測モデル構築の試み	齊藤 岳児	次世代創造医工情報 教育センター		195,000	補 委	静岡県立 静岡がん センター
70歳以上のEpidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するオンメルチニブの至適投与量に関する多施設共同研究(研究略名: MONEY、研究番号: CSPOR-LC09)	須田 隆文	内科学第二講座		0	補 委	公益財団 法人パブ リックヘル スリサーチ センター
重度腎機能低下患者のサクビト rilバルサルタン投与時における高カリウム血症発現頻度の多機関共同後方視的研究	清水 幹裕	臨床研究センター		50,000	補 委	公益財団 法人ふじの くに医療城 下町推進 機構
エンホルツマブ ベドチンによる皮膚障害の発症様式に関する多機関共同観察研究	松下 雄登	泌尿器科		0	補 委	国立大学 法人京都 大学
リングル液負荷によるERCP後膵炎予防に関するランダム化比較対照研究	杉本 健	内科学第一講座		0	補 委	国立大学 法人三重 大学
未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するペムプロリスマブの至適投与量に関する試験	須田 隆文	内科学第二講座		0	補 委	公益財団 法人パブ リックヘル スリサーチ センター
浜松市児童青年期メンタルヘルス支援人材育成事業業務委託	土屋 賢治	子どものこころの発達 研究センター		6,000,000	補 委	浜松市
Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)	山本 清二	産学連携・知財活用 推進センター		1,064,700	補 委	国立研究開発 法人科学技術 振興機構
イメージング質量分析による動態評価技術の新規モダリティ薬剤への適応展開	瀬藤 光利	細胞分子解剖学講座		46,000,000	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構

成人発症スチル病(AOSD)に対する5-アミノレブリン酸塩酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム(5-ALA HCL/SFC)投与の医師主導治験	小川 法良	第三内科	1,950,000	補 委	国立大学法人 長崎大学
誰でも名精神科医に:客観定量的行動解析の活用による双極性障害診断精度の改良とそれによる治療支援法の開発	山末 英典	精神医学	6,760,000	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
シリコン製巻き付け式の弾性着衣着用補助具の開発	佐野 真規	第二外科	1,924,520	補 委	国立研究開発 法人科学技術 振興機構
Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)	山本 清二	産学連携・知財活用 推進センター	2,600,000	補 委	国立研究開発 法人科学技術 振興機構
ネフローゼ型膜性腎症に対するリツキシマブの検証的医師主導治験の実施	安田 日出夫	内科学第一講座	1,690,000	補 委	国立大学法人 東海国立大学 機構
Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)	中村 和正	産学連携・知財活用 推進センター	0	補 委	国立研究開発 法人科学技術 振興機構
RhoBTB2機能異常による新規てんかんモデル動物を用いた遺伝子サイレンシング治療法の確立	才津 浩智	医化学講座	3,181,819	補 委	国立大学法人 北海道大学
単純ヘルペスチミジンキナーゼ発現エピソームルベクターによる間葉系幹細胞製剤の非ウイルス的製法の開発	山崎 友裕	脳神経外科	4,852,000	補 委	国立大学法人 東海国立大学 機構
ピフィズ菌を利用した経口がんワクチンによる進行性尿路上皮癌を対象とした医師主導治験	田村 啓多	泌尿器科学講座	3,900,000	補 委	国立大学法人 神戸大学
経食道運動誘発電位に用いる刺激電極の開発	椎谷 紀彦	外科学第一講座	96,686,684	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
ナノスーツ法による精子形態評価の機械学習アルゴリズムの開発	宗 修平	生殖周産期医学	10,493,561	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構

計 205

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	小泉 慎一郎	脳神経外科	[Innovations in Combined Surgery of Endoscopic Transsphenoidal Surgery and Craniotomy].	No shinkei geka. Neurological surgery 2023.7	Original Article
2	坂野 友啓	寄附講座 森町地域包括ケ ア講座	5-year outcomes of surgical intervention in patients with adult spine deformity according to preoperative 5-item modified frailty index scores.	Spine deformity 2024.2	Original Article
3	福地 健祐	皮膚科	A case of bullous pemphigoid in a malignant melanoma patient following an increased Th2/Th1 ratio in peripheral blood cells after nivolumab treatment.	European journal of dermatology : EJD 2023.10	Case report
4	諏訪 賢一郎	内科学第三講座(循環器・血 液・免疫リウマチ内科学分 野)	A Case of Coronary Arteritis and Myocardial Involvement With Associated IgG4-Related Disease.	JACC. Case reports 2023.5	Case report
5	尾崎 公美	放射線科	A case of focal nodular hyperplasia-like lesion presenting unusual signal intensity on the hepatobiliary phase of gadoteric acid-enhanced magnetic resonance image.	Radiology case reports 2023.9	Case report
6	彦谷 明子	眼科	A case of siblings with juvenile retinitis pigmentosa associated with NEK1 gene variants.	Ophthalmic Genet 2023.5	Original Article
7	柄山 正人	腫瘍センター	A predictive model for acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonias.	The European respiratory journal 2023.5	Original Article
8	岩倉 考政	第一内科	A Rare Case of Sporadic Medullary Cystic Kidney Disease with Rapidly Progressive Renal Dysfunction and Renal Enlargement Complicated by Idiopathic Nodular Glomerulosclerosis.	Internal medicine (Tokyo, Japan) 2024.2	Case report
9	津田 和政	第一外科	A simple method of functional posterior leaflet height reduction with the loop technique to avoid systolic anterior motion.	JTCVS techniques 2023.12	Original Article
10	成味 太郎	第三内科	Actual conditions of atrial septal lead implantation and the factors related to successful implantation.	Journal of cardiology 2023.4	Original Article

11	北濱 義博	寄附講座 先進ロボット手術 開発学講座	Advancements and Challenges in Robot-Assisted Bone Processing in Neurosurgical Procedures	Neurospine 2024.3	Original Article
12	石田 夏樹	内科学第一講座(消化器・腎 臓・脳神経内科学分野)	Albumin change predicts failure in ulcerative colitis treated with adalimumab.	PLoS one 2024.1	Original Article
13	鈴木 勇三	内科学第二講座(内分泌・呼 吸・肝臓内科学分野)	Assessment of malnutrition-related risk in patients with idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis.	ERJ open research 2023.5	Original Article
14	渡邊 弘充	泌尿器科学講座	Assessments of therapeutic effects according to timings for combined therapy with axitinib and immune check point inhibitor in a mouse renal cell carcinoma model.	Scientific reports 2023.7	Original Article
15	伊藤 純哉	麻酔科蘇生科	Association Between Early Hyponatremia and Clinical Outcomes in Critically Ill Patients: A Retrospective Cohort Study	Cureus 2024.3	Original Article
16	影山 玲子	皮膚科学講座	Author reply to "Response to 'A case of acquired idiopathic generalized anhidrosis following severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 vaccination'".	The Journal of dermatology 2024.1	Letter
17	榎本 泰典	再生・感染病理学講座	Autocrine TGF- β -positive feedback in profibrotic AT2-lineage cells plays a crucial role in non-inflammatory lung fibrogenesis.	Nature communications 2023.8	Original Article
18	辻 尚子	血液浄化療法部	BAM15 treats mouse sepsis and kidney injury, linking mortality, mitochondrial DNA, tubule damage, and neutrophils	2023.4	Original Article
19	福田 冬季子	寄附講座 浜松成育医療学 講座	Blood glucose trends in glycogen storage disease type Ia: A cross-sectional study.	Journal of inherited metabolic disease 2023.4	Original Article
20	角谷 基文	子どものこころの発達研究セ ンター	Brief reports: Influence of Friendship on Loneliness among Adolescents with Autism Spectrum Disorders in Japan	Journal of Autism and Developmental Disorders 2023.4	Original Article
21	宮下 晃一	第二内科	Changes in the characteristics and outcomes of COVID-19 patients from the early pandemic to the delta variant epidemic: a nationwide population-based study.	Emerging microbes & infections 2023.12	Original Article
22	飯嶋 重雄	寄附講座 地域周産期医療 学講座	Clinical Dilemma Involving Treatments for Very Low-Birth-Weight Infants and the Potential Risk of Necrotizing Enterocolitis: A Narrative Literature Review	Journal of Clinical Medicine 2023.12	Review

23	増永 陽平	寄附講座 地域医療支援学講座	Clinical findings in three Japanese patients with N-acetylneuraminic acid synthetase-congenital disorder of glycosylation (NANS-CDG)	HORMONE RESEARCH IN PAEDIATRICS 2023.9	Original Article
24	小野 孝明	輸血・細胞治療部	Clinical outcomes of second-generation tyrosine kinase inhibitors versus imatinib in older patients with CML	CANCER SCIENCE 2023.5	Original Article
25	市川 新太郎	放射線診断学講座	Clinical Significance of Liver MR Imaging.	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine 2023.4	Review
26	松下 雄登	泌尿器科	Comparative assessment of disease recurrence after transurethral resection of non-muscle-invasive bladder cancer with and without a photodynamic diagnosis using 5-aminolevulinic acid: a propensity score-matching analysis	INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY 2024.2	Original Article
27	石田 夏樹	内科学第一講座(消化器・腎臓・脳神経内科学分野)	Comparison of fecal calprotectin levels and endoscopic scores for predicting relapse in patients with ulcerative colitis in remission.	World journal of gastroenterology 2023.12	Original Article
28	鈴木 祐二	集中治療部	Comparison of postoperative nausea and vomiting between remimazolam and propofol: a propensity score- matched, retrospective, observational, single-center cohort study	Korean Journal of Anesthesiology 2023.4	Original Article
29	永房 鉄之	リハビリテーション部	Comprehensive relationship between disease activity indices, mTSS, and mHAQ and physical function evaluation and QOL in females with rheumatoid arthritis	SCIENTIFIC REPORTS 2023.12	Original Article
30	青木 善孝	集中治療部	Critical considerations, including overfitting in regression models and confounding in study designs for delirium follow-up.	Journal of anesthesia 2023.4	Letter
31	井上 裕介	第二内科	Cytokine profiling identifies circulating IL-6 and IL-15 as prognostic stratifiers in patients with non-small cell lung cancer receiving anti-PD-1/PD-L1 blockade therapy	Cancer Immunol Immunother 2023.8	Original Article
32	井上 裕介	第二内科	Cytokine profiling identifies circulating IL-6 and IL-15 as prognostic stratifiers in patients with non-small cell lung cancer receiving anti-PD-1/PD-L1 blockade therapy.	Cancer immunology, immunotherapy : CII 2023.4	Original Article
33	大石 知也	脳神経外科	Dolichoectasia of the ophthalmic artery: a case report on the treatment strategy in endovascular therapy and literature review.	BMC cardiovascular disorders 2024.2	Case report
34	石川 貴充	小児科学講座	Editorial for "Quantitative Assessment of Myocardial Edema by MR T2 Mapping in Children With Kawasaki Disease"	JOURNAL OF MAGNETIC RESONANCE IMAGING 2024.3	Review

35	桂川 孝行	集中治療部	Effect of remimazolam versus sevoflurane on intraoperative hemodynamics in noncardiac surgery: a retrospective observational study using propensity score matching.	JA clinical reports 2023.10	Original Article
36	大和 雄	整形外科科学講座	Effect Of Unintended Tissue Injury On The Development Of Thigh Symptoms After Lateral Lumbar Interbody Fusion In Patients With Adult Spinal Deformity: A Retrospective Case Series.	Spine 2023.4	Original Article
37	安部 正和	産婦人科学講座	Efficacy of Olanzapine in Addition to Standard Triplet Antiemetic Therapy for Cisplatin-Based Chemotherapy: A Secondary Analysis of the J-FORCE Randomized Clinical Trial.	JAMA network open 2023.5	Original Article
38	坂野 友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	Evaluation of the changes in waistline asymmetry using digital photography in adolescents with idiopathic thoracolumbar/lumbar scoliosis after corrective surgery.	Spine deformity 2024.3	Original Article
39	本田 哲也	皮膚科学講座	Exploring the roles of prostanoids, leukotriens, and dietary fatty acids in cutaneous inflammatory diseases: Insights from pharmacological and genetic approaches.	Immunological reviews 2023.8	Review
40	尾崎 公美	放射線科	Extracellular volume fraction obtained by dual-energy CT depicting the etiological differences of liver fibrosis.	Abdominal radiology (New York) 2023.6	Original Article
41	佐野 誠	第三内科	Feasibility of energy-guided short duration protocol of laser balloon based pulmonary vein isolation for atrial fibrillation (EG-Laser Study)	PACE-PACING AND CLINICAL ELECTROPHYSIOLOGY 2023.7	Original Article
42	諏訪 賢一郎	内科学第三講座(循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野)	Four-dimensional Flow Cardiac MRI for Hemodynamic Assessment of Alcohol Septal Ablation for Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy with Multiple Obstructions.	Radiology. Cardiothoracic imaging 2023.10	Case report
43	市川 新太郎	放射線診断学講座	Gadoxetic Acid-Enhanced Liver MRI: Everything You Need to Know.	Investigative radiology 2024.1	Review
44	千田 剛土	寄附講座 地域医療支援学講座	Impact of amino acid substitutions in hepatitis C virus core region on the severe oxidative stress	FREE RADICAL BIOLOGY AND MEDICINE 2024.2	Original Article
45	栗田 忠代士	手術部	Impact of high-dose vasopressor during endotoxic shock on the cerebral, lingual, hepatic, and renal microcirculation evaluated by near-infrared spectroscopy in swine.	Shock (Augusta, Ga.) 2024.3	Original Article
46	大和 雄	整形外科科学講座	Impact of multi-rod reinforcement on rod fractures in adult spinal deformity: A retrospective case series with a minimum follow up of 5 years.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association 2024.2	Original Article

47	宮下 晃一	第二内科	Impact of preexisting interstitial lung disease on mortality in COVID-19 patients from the early pandemic to the delta variant epidemic: a nationwide population-based study	RESPIRATORY RESEARCH 2024.2	Original Article
48	小西 憲太	放射線腫瘍学講座	Impact of Radiation Dose on Treatment of Maxillary Cancer With Superselective Intra-arterial Cisplatin With Radiotherapy	ANTICANCER RESEARCH 2023.6	Original Article
49	根木 宏明	脳神経外科学講座	Improving the Reachability of Contact Aspiration for Acute Ischemic Stroke Using a New Delivery Assist Catheter	World Neurosurgery 2023.11	Original Article
50	市川 新太郎	放射線診断学講座	Inter-observer agreement and accuracy of LI-RADS v2018 for differentiating tumor in vein from bland thrombus using gadoteric acid-enhanced magnetic resonance imaging.	Abdominal radiology (New York) 2023.8	Original Article
51	山末 英典	精神医学講座	Is the efficacy of oxytocin for autism diminished at higher dosages or repeated doses?: Potential mechanisms and candidate solutions.	Peptides 2024.1	Review
52	伊藤 泰介	皮膚科学講座	Is the Scale of Alopecia Areata Distress a new method of assessing the psychological burden of alopecia areata?	The British journal of dermatology 2023.7	Original Article
53	市川 新太郎	放射線診断学講座	Key CT and MRI findings of drug-associated hepatobiliary and pancreatic disorders.	Japanese journal of radiology 2024.3	Original Article
54	秋永 智永子	周産母子センター	Letter to "Preanesthetic ultrasonography assessment of inferior vena cava diameter in the supine position, left lateral tilt position, and with the left uterine displacement maneuver in full-term pregnant women: A randomized cross-over design study"	JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYNAECOLOGY RESEARCH 2023.6	Letter
55	尾崎 公美	放射線科	Liver fibrosis estimated using extracellular volume fraction obtained from dual-energy CT as a risk factor for hepatocellular carcinoma after sustained virologic response: A preliminary case-control study.	European journal of radiology 2023.11	Original Article
56	市川 新太郎	放射線診断学講座	Magnetic resonance imaging-based risk factors of hepatocellular carcinoma after direct-acting antiviral therapy: A multicenter observational study.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology 2024.1	Original Article
57	増永 陽平	寄附講座 地域医療支援学講座	Microdeletion at ESR1 Intron 6 (DEL_6_75504) Is a Susceptibility Factor for Cryptorchidism and Hypospadias.	The Journal of clinical endocrinology and metabolism 2023.4	Original Article
58	宮下 晃一	第二内科	Nationwide survey of adult patients with pulmonary alveolar proteinosis using the National Database of designated intractable diseases of Japan.	Respiratory investigation 2023.5	Original Article

59	鈴木 勇三	内科学第二講座(内分泌・呼吸・肝臓内科学分野)	Neutrophil-lymphocyte ratio in patients with idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis	BMJ OPEN RESPIRATORY RESEARCH 2023.12	Original Article
60	尾崎 公美	放射線科	Not Always What It Seems: Exploring Mimickers of Liver Malignancy	Radiological Society of North America 2023: 109th Annual Meeting 2023.11	Others
61	大江 慎	寄附講座 長寿運動器疾患 教育研究講座	Occupancy Rate of Pedicle Screw Below 80% is a Risk Factor for Upper Instrumented Vertebral Fracture Following Adult Spinal Deformity Surgery.	Spine 2023.4	Original Article
62	坂野 友啓	寄附講座 森町地域包括ケ ア講座	Optimal lowest instrumented vertebra selection with consideration of coronal and sagittal planes to prevent distal junctional complications in patients with Lenke type 1A and 2A adolescent idiopathic scoliosis.	Spine deformity 2023.9	Original Article
63	和久田 智靖	精神科神経科	Oxytocin-induced increases in cytokines and clinical effect on the core social features of autism: Analyses of RCT datasets.	Brain, behavior, and immunity 2024.3	Original Article
64	本山 大輔	寄附講座 先進ロボット手術 開発学講座	Perioperative outcomes of robot-assisted partial nephrectomy using hinotori versus da Vinci surgical robot system: a propensity score-matched analysis	JOURNAL OF ROBOTIC SURGERY 2023.10	Original Article
65	千田 剛士	寄附講座 地域医療支援学 講座	Persistent hepatic IFN system activation in HBV- HDV infection determines viral replication dynamics and therapeutic response	JCI INSIGHT 2023.5	Original Article
66	乾 直輝	臨床薬理学講座	Pooled Analysis of Studies Evaluating Fosnetupitant and Risk Factors for Cisplatin-Induced Nausea and Vomiting During the Extended Overall Phase	ADVANCES IN THERAPY 2023.11	Original Article
67	有馬 秀幸	次世代創造医工情報教育セ ンター	Postoperative neurological complications in intradural extramedullary tumors: A 10-year experience of a single center	NEUROCHIRURGIE 2023.9	Original Article
68	佐野 真規	第二外科	Precognition of endosac growth with type II endoleak before encovascular aneurysm	European Journal of Vascular & Endovascular Surgery 2023.5	Letter
69	宗 修平	寄附講座 生殖周産期医学 講座	Pregnancy bias toward boys or girls: The Japan Environment and Children's Study	PLOS ONE 2023.6	Original Article
70	犬塚 祐介	小児科	Prevention of atopic dermatitis in high-risk neonates via different types of moisturizer application: A randomized, blinded, parallel, three-group, phase II trial (PAF study).	2023.12	Original Article

71	松下 雄登	泌尿器科	Prognostic outcomes in patients with metastatic renal cell carcinoma receiving second-line treatment with tyrosine kinase inhibitor following first-line immunotherapy combination therapy	INTERNATIONAL JOURNAL OF UROLOGY 2024.1	Original Article
72	坂野 友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	Psychological Factors Can Affect the Clinical Outcome of Chemonucleolysis with Condoliase in Patients with Lumbar Disk Herniation.	Spine surgery and related research 2024.3	Original Article
73	佐野 誠	第三内科	Rate-dependent elevation of the capture threshold after implantation of a leadless pacemaker	PACE-PACING AND CLINICAL ELECTROPHYSIOLOGY 2023.11	Case report
74	花田 充	中央診療施設(支援部門) 卒後教育センター	Relationship between the Femoral and Tibial Component Positions and Postoperative Knee Range of Motion after Posterior-Stabilized Total Knee Arthroplasty in Varus-Aligned Knees.	The journal of knee surgery 2023.10	Original Article
75	本山 大輔	寄附講座 先進ロボット手術 開発学講座	Robot-assisted adrenalectomy using a hinotori surgical robot system: Report of first series of six cases.	Asian journal of endoscopic surgery 2023.7	Original Article
76	本山 大輔	寄附講座 先進ロボット手術 開発学講座	Robot-assisted radical nephrectomy and inferior vena cava tumor thrombectomy using the novel surgical robot platform, hinotori: Initial experience with two cases.	IJU case reports 2023.11	Original Article
77	本山 大輔	寄附講座 先進ロボット手術 開発学講座	Robot-assisted radical nephrectomy using novel surgical robot platform, hinotori: Report of initial series of 13 cases	INTERNATIONAL JOURNAL OF UROLOGY 2023.12	Original Article
78	本山 大輔	寄附講座 先進ロボット手術 開発学講座	Robot-assisted radical nephroureterectomy for upper urinary tract tumor: initial experience with the use of novel surgical robot system, hinotori	TRANSLATIONAL CANCER RESEARCH 2023.12	Original Article
79	井上 裕介	第二内科	Serum immune modulators associated with immune-related toxicities and efficacy of atezolizumab in patients with non-small cell lung cancer	J Cancer Res Clin Oncol 2023.7	Original Article
80	藤澤 泰子	小児科	Serum steroid metabolite profiling by LC-MS/MS in two phenotypic male patients with HSD17B3 deficiency: Implications for hormonal diagnosis	JOURNAL OF STEROID BIOCHEMISTRY AND MOLECULAR BIOLOGY 2023.11	Original Article
81	坊岡 英祐	第二外科	Siewert II型食道胃接合部腺癌に対するアプローチと therapeutic value index(Approach and therapeutic value index for Siewert type 2 esophagogastric junction adenocarcinoma)	肝臓 2023.9	Others
82	坂本 篤志	内科学第三講座(循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野)	Significance of Intra-plaque Hemorrhage for the Development of High-Risk Vulnerable Plaque: Current Understanding from Basic to Clinical Points of View	International Journal of Molecular Sciences 2023.8	Review

83	柄山 正人	腫瘍センター	Six-week oral prednisolone therapy for immune-related pneumonitis: a single-arm phase II study	JOURNAL FOR IMMUNOTHERAPY OF CANCER 2023.7	Original Article
84	尾崎 公美	放射線科	Staging of liver fibrosis assessed by quantification of hepatic extracellular volume obtained by dual-energy CT would be easier-to-access than previous.	Radiological Society of North America 2023: 109th Annual Meeting. 2023.11	Others
85	土屋 賢治	子どものこころの発達研究センター	Study Inclusions in the Association Between Screen Time and Neurodevelopment in Early Childhood-Reply.	JAMA Pediatrics 2023.7	Letter
86	古橋 暁	第二外科	Tenascin C in pancreatic cancer-associated fibroblasts enhances epithelial mesenchymal transition and is associated with resistance to immune checkpoint inhibitor	AMERICAN JOURNAL OF CANCER RESEARCH 2023.11	Original Article
87	土屋 賢治	子どものこころの発達研究センター	The association between screen time and genetic risks for neurodevelopmental disorders in children.	Psychiatry Research 2023.9	Original Article
88	森田 剛文	寄附講座 森町地域包括ケア講座	The cholinesterase and C-reactive protein score is a potential predictor of pseudoaneurysm formation after pancreaticoduodenectomy in patients with soft pancreas	BMC SURGERY 2023.11	Original Article
89	谷口 美づき	麻酔科蘇生科	The effect of assisted reproductive technology on postpartum bleeding: hormonal cycle frozen embryo transfer might increase blood loss	JOURNAL OF ANESTHESIA 2024.2	Original Article

90	大江 慎	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	The relationship between frailty and spinal alignment in the elderly general population: a two-year longitudinal study	EUROPEAN SPINE JOURNAL 2023.7	Original Article
91	鳥居 薫子	眼科	The Structural Abnormalities Are Deeply Involved in the Cause of RPGRIP1-Related Retinal Dystrophy in Japanese Patients	INTERNATIONAL JOURNAL OF MOLECULAR SCIENCES 2023.9	Original Article
92	渡邊 恭平	泌尿器科	Therapeutic effects of KCC2 chloride transporter activation on detrusor overactivity in mice with spinal cord injury.	American journal of physiology. Renal physiology 2023.4	Original Article
93	佐原 聡甫	耳鼻咽喉科	Therapeutic inhibition of Bmi-1 ablates chemoresistant cancer stem cells in adenoid cystic carcinoma.	Oral oncology 2023.5	Original Article
94	秋永 智永子	周産母子センター	Thromboelastography with platelet mapping to guide anesthetic management of emergency cesarean delivery in a patient with thrombasthenia: a case report.	JA clinical reports 2023.5	Case report
95	亀野 陽亮	精神医学講座	Time-course changes in mental distress and their predictors in response to the coronavirus disease 2019 (COVID-19) pandemic: A longitudinal multi-site study of hospital staff	PLOS ONE 2023.10	Original Article
96	鈴木 勇三	内科学第二講座(内分泌・呼吸・肝臓内科学分野)	Tracheal Lymphoid Follicular Hyperplasia Causing Airway Stenosis	Respiratory Endoscopy 2023.11	Case report
97	飯嶋 重雄	寄附講座 地域周産期医療学講座	Umbilical Granuloma: Frequency, Associated Factors, 10-Year Treatment Trends, and Effectiveness at a Single Hospital in Japan	Journal of Clinical Medicine 2023.9	Original Article
98	成瀬 代土久	内科学第三講座(循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野)	Usefulness of delivery catheter on accurate right ventricular septal pacing: Mt FUJI trial.	Europace : European pacing, arrhythmias, and cardiac electrophysiology : journal of the working groups on cardiac pacing, arrhythmias, and cardiac cellular electrophysiology	Original Article
99	成瀬 智	周産母子センター	Uterotonic administration during cesarean section in Japan	JOURNAL OF ANESTHESIA 2023.8	Letter
100	坊岡 英祐	第二外科	What is the best reconstruction procedure after esophagectomy? A meta-analysis comparing posterior mediastinal and retrosternal approaches.	Annals of gastroenterological surgery 2023.7	Review
101	安達 美和	第三内科	ボナチニブ投与後に甲状腺機能亢進症を発症した慢性骨髄性白血病慢性期の2例	日本血液学会学術集会 2023.10	Case report

102	山末 英典	精神医学講座	自閉スペクトラム症中核症状に対する治療薬開発～現状と開発戦略～ Oxytocin systemに基づいた治療薬の開発(Efforts to develop therapeutic agents based on the oxytocin system)	日本神経精神薬理学会年会プログラム・抄録集 2023.9	Others
103	武田 真	外科学第二講座(消化器・血管外科学分野)	膵臓の破骨巨細胞を伴う未分化癌の1例(A case of undifferentiated carcinoma with osteoclastic giant cells of the pancreas)	日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集 2023.6	Others

計103件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	阪田 麻裕	外科学第二講座(消化器・血管外科学分野)	「若手教育の光と影」 未来の指導者となる若手医師の教育	日本外科学会雑誌	Original Article
2	大石 彰	中央診療施設(診療部門) 周産母子センター	「乳幼児健診アップデート~小児科と眼科の連携」 新生児・乳児の視覚スクリーニング 産科クリニック乳児健診での導入を目指して	眼科臨床紀要	Original Article
3	大場 健司	医学教育推進センター	[COVID-19パンデミック後の医学・医療者教育] 学生用ポケットエコー16台による超音波教育の成果と課題	医学教育	Original Article
4	山末 英典	精神医学講座	[オキシトシンの向精神作用と精神疾患治療応用への展望] オキシトシン経鼻投与の応用による自閉スペクトラム症中核症状治療薬の開発	医学のあゆみ	Original Article
5	阪田 麻裕	医学科 外科学第二講座(消化器・血管外科学分野)	[気になるポイント"即"チェック!キーワード45でサクッと理解 消化器ドレーン・チューブ事典] 使用器具	消化器ナーシング	Original Article
6	中島 芳樹	医学科 麻酔・蘇生学講座	[最新主要文献とガイドラインでみる 麻酔科学レビュー 2023] 吸入麻酔薬	麻酔科学レビュー	Original Article
7	吉田 剛	整形外科	[術中脊髄機能モニタリングのUP TO DATE] 経頭蓋刺激運動誘発電位のアラームポイントとレスキュー操作	脊椎脊髄ジャーナル	Original Article
8	吉田 剛	整形外科	[術中脊髄機能モニタリングのUP TO DATE] 成人脊柱変形手術に対するモニタリング	脊椎脊髄ジャーナル	Original Article
9	坊岡 英祐	第二外科	[食道癌・胃癌・大腸癌,最近の診療を知る] 食道癌 食道癌の集学的治療	診断と治療	Original Article
10	黒住 和彦	脳神経外科学講座	[多様化する脳神経外科専門分野における協調] 悪性脳腫瘍 基礎研究と臨床開発の協調	脳神経外科ジャーナル	Original Article
11	安井 秀樹	臨床研究センター	COPDにおける気道系の定量的CT解析	呼吸器内科	Original Article
12	関原 圭吾	第一外科	EGFR遺伝子変異の有無により層別化した喫煙者の肺癌切除後の予後解析	日本呼吸器外科学会雑誌	Original Article
13	尾崎 公美	放射線科	Gd-EOB-DTPA造影MRIによる肝良性腫瘍,非腫瘍性病変の画像診断	日本磁気共鳴医学会雑誌	Original Article
14	坊岡 英祐	第二外科	Malnutrition Universal Screening Tool(MUST)による食道切除術後合併症の予測	外科と代謝・栄養	Original Article
15	関原 圭吾	第一外科	Mycobacterium avium感染巣による続発性気胸に対して胸腔鏡補助下舌区切除を行った1例	結核	Original Article
16	片橋 一人	外科学第二講座(消化器・血管外科学分野)	Parks-Weber syndromeに伴う右浅大腿動脈瘤破裂にステントグラフトを留置した一例	日本血管外科学会雑誌	Original Article
17	鷺山 直己	第一外科	shaggy aortaを伴う大動脈瘤に対する対策と手術成績 Shaggy aortaを伴う弓部大動脈瘤手術におけるBrain isolation法の塞栓症防止効果の検討	日本血管外科学会雑誌	Original Article
18	坊岡 英祐	第二外科	Siewert type 2食道胃接合部腺癌に対する術前化学療法の有効性の検討	日本消化器外科学会総会	Original Article
19	清水 雄太	整形外科科学講座	THA術後の下肢運動機能回復は術前の栄養状態が影響するか	日本人工関節学会誌	Original Article
20	竹内 裕也	外科学第二講座(消化器・血管外科学分野)	がん微小環境から解き明かすリンパ節転移 リンパ節転移と腫瘍外科学の進歩	リンパ学	Original Article
21	高山 理和	眼科	クリスタリン網膜症の長期的ERG変化	眼科臨床紀要	Original Article
22	石川 貴充	小児科学講座	クリニカルトピックス 川崎病患者における動脈硬化進展の病態を探る	BIO Clinica	Original Article

23	宮入 烈	小児科学講座	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)ゲノム解析システムの臨床応用	日本小児科学会雑誌	Original Article
24	秋永 智永子	周産母子センター	レミゾラムによるアナフィラキシーショックを疑った全身麻酔症例-手術続行は何をもとに判断するか	蘇生	Original Article
25	船井 和仁	第一外科	ロボット支援下手術に特有に起きる合併症とその対策開胸移行例からみるロボット手術の合併症	日本呼吸器外科学会雑誌	Original Article
26	鷲山 直己	第一外科	遠隔期を見据えた慢性B型解離の治療選択と工夫 遠隔期を見据えた慢性B型大動脈解離に対する治療戦略	脈管学	Original Article
27	伊藤 泰介	皮膚科学講座	外的要因と抜け毛 新型コロナウイルス感染症も含めて	皮膚と美容	Original Article
28	坊岡 英祐	第二外科	胸腔鏡下食道切除術と比較したロボット支援下食道切除術の有用性の検討	日本外科学会定期学術集会抄録集	Original Article
29	宮入 烈	小児科学講座	健康保険組合データベースを用いた小児インフルエンザ外来患者の重症化抑制効果に関するパロキサビルマルボキシルとノイラミニダーゼ阻害剤の比較検討	日本小児感染症学会総会・学術集会プログラム・抄録集	Original Article
30	磯村 直美	産科婦人科	抗凝固療法の前後で比較した胎盤病理組織学的所見の検討	日本周産期・新生児医学会雑誌	Original Article
31	坊岡 英祐	第二外科	高齢食道癌患者に対する簡易栄養状態評価表による食道切除術後合併症の予測	日本食道学会学術集会プログラム・抄録集	Original Article
32	鷲山 直己	第一外科	私の(秘)テクニック2(胸部) 左開胸低体温循環停止下の選択的脳灌流法	日本血管外科学会雑誌	Original Article
33	山末 英典	精神医学講座	自閉スペクトラム症とオキシトシン経鼻剤	糖尿病・内分泌代謝科	Original Article
34	伊藤 泰介	皮膚科学講座	重症円形脱毛症患者に対するバリシチニブの長期有効性 BRAVE-AA1/AA2試験	日本皮膚科学会雑誌	Original Article
35	伊藤 泰介	皮膚科学講座	重症円形脱毛症患者のSALTによる頭部の反応別での眉毛/睫毛の再発毛(バリシチニブBRAVE-AA試験)	日本皮膚科学会雑誌	Original Article
36	武田 真	外科学第二講座(消化器・血管外科学分野)	消化器外科手術におけるSSI低減にむけた取り組み	日本外科感染症学会雑誌	Original Article
37	武田 真	外科学第二講座(消化器・血管外科学分野)	消化器外科手術における手術切開創に対するイソジン消毒の有用性	日本創傷治癒学会プログラム・抄録集	Original Article
38	坊岡 英祐	第二外科	食道亜全摘術後ミトラック留置により晩期的に気管内肉芽形成を認めた一例	日本気管食道科学会会報	Original Article
39	菊池 寛利	外科学第二講座(消化器・血管外科学分野)	食道癌における至適なリンパ節郭清のコツ 至適剥離層を意識した上縦隔操作による確実なリンパ節郭清と反回神経麻痺の低減	日本外科系連合学会誌	Original Article
40	清水 雄太	整形外科科学講座	人工股関節再置換術後にKTプレートが破損、カップが脱転し再々置換を要した2例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
41	山末 英典	精神医学講座	性差と自閉スペクトラム症	精神医学	Original Article
42	有馬 秀幸	次世代創造医工情報教育センター	成人脊柱変形に対する矯正固定術後の三次元歩行解析 歩行改善不良例の特徴は?	Journal of Spine Research	Original Article
43	有馬 秀幸	次世代創造医工情報教育センター	成人脊柱変形に対する長範囲矯正固定術後5年時の臨床アウトカム良好群と不良群の比較から判断する手術タイミング	Journal of Spine Research	Original Article
44	有馬 秀幸	次世代創造医工情報教育センター	成人脊柱変形に対する長範囲矯正固定術後の愁訴改善および術後の日常生活動作障害 年代による違いはあるか?	Journal of Spine Research	Original Article
45	乾 直輝	臨床薬理学講座	静岡県の大学院大学・医科大学より「浜松医科大学臨床薬理学講座のご紹介」	静岡県医師会報	Original Article
46	黒須 健太	整形外科	脊髄髄内腫瘍手術における経頭蓋刺激筋誘発電位術中モニタリング 術後神経障害はどの程度出現し、何%が術前レベルまで改善したか?	Journal of Spine Research	Original Article

47	石川 貴充	小児科学講座	川崎病既往患者と動脈硬化に関する研究	アレルギーの臨床	Original Article
48	漆畑 伶	小児科	前頭洞炎の頭蓋内・頭蓋骨外進展: Pott's puffy tumorと硬膜下膿瘍を発症した2症例の報告	浜松医科大学小児科学雑誌	Original Article
49	小林 賢輔	麻酔科蘇生科	帯状疱疹後神経痛の治療経過中に上肢発汗の左右差を契機に肺がん診断に至った1例	日本ペインクリニック学会誌	Original Article
50	宗 修平	寄附講座 生殖周産期医学講座	第1子,第2子が男児の場合,第3子も男児が生まれる確率は本当に高いのか? 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)	日本生殖医学会雑誌	Original Article
51	宗 修平	寄附講座 生殖周産期医学講座	男性不妊症に関する情報提供が精液検査の受診行動に与える効果	日本生殖医学会雑誌	Original Article
52	吉田 剛	整形外科	直接神経刺激・運動誘発電位を用いた馬尾神経鞘腫切除術の術後運動障害の予防	日本整形外科学会雑誌	Original Article
53	船井 和仁	第一外科	低侵襲手術時代の開胸手術の教育 カダバーサージカルトレーニングの活用	日本外科学会定期学術集会抄録集	Original Article
54	紫藤 洋二	整形外科	軟部転移を繰り返す大腿原発粘液型脂肪肉腫の1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
55	飯嶋 重雄	寄附講座 地域周産期医療学講座	平成時代における新生児診療に関する医療訴訟の分析	浜松医科大学小児科学雑誌	Original Article
56	中島 芳樹	麻酔・蘇生学講座	麻酔科学 レミゾラム わが国からのエビデンス	医学のあゆみ	Original Article
57	北形 綾一	小児科	扁摘パルス療法が有効であった反復性IgA血管炎および紫斑病性腎炎の一例	浜松医科大学小児科学雑誌	Original Article
58	武田 真	外科学第二講座(消化器・血管外科学分野)	膵頭十二指腸切除を施行した胆道癌の予後因子の解析	日本外科学会定期学術集会抄録集	Original Article

計58件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

倫理審査委員会の設置状況	有・無
倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ア 倫理委員会の役割・責務等 イ 倫理委員会の業務 ウ 倫理委員会の運営 エ 倫理委員会における審査 オ 倫理委員会事務局の業務	
倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 ア 利益相反マネジメントの目的・対象・対象者 イ 利益相反マネジメント委員会の設置・審議事項・組織 ウ 利益相反マネジメントのための調査方法 エ 審議、勧告、決定等の手続き オ 臨床研究に関する調査等 カ 研修・啓発活動	
利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年5回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年20回
<p>・研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 臨床研究の倫理 イ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 ウ 臨床研究に関する法規制 エ 臨床研究における研究不正と行動規範 オ 臨床試験の計画と準備、実施医療機関の組織と運用 カ 被験者の募集、組み込みと参加継続 キ 臨床研究とデータサイエンス 	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

内科プログラム、精神科プログラム、小児科プログラム、外科プログラム、脳神経外科プログラム、整形外科プログラム、皮膚科プログラム、泌尿器科プログラム、眼科プログラム、耳鼻咽喉科・頭頸部外科プログラム、産婦人科プログラム、放射線科プログラム、麻酔科プログラム、リハビリテーション科プログラム、形成外科プログラム、臨床検査プログラム、病理診断科プログラム、救急科プログラム、総合診療プログラム、口腔外科専門医取得プログラム

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	89人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大橋 温	内科	特任准教授	28年	
杉本 健	消化器内科	教授	31年	
安田 日出夫	腎臓内科	准教授	29年	
松下 明生	内分泌・代謝内科	講師	31年	
藤澤 朋幸	呼吸器内科	講師	27年	
川田 一仁	肝臓内科	准教授	25年	
前川 裕一郎	循環器内科	教授	29年	
永田 泰之	血液内科	病院講師	21年	
小川 法良	免疫・アレルギー内科	病院准教授	39年	
中村 友彦	脳神経内科	教授	29年	
山末 英典	精神科神経科	教授	26年	
宮入 烈	小児科	教授	29年	
竹内 裕也	外科	教授	32年	
鷺山 直己	心臓血管外科	病院准教授	32年	
船井 和仁	呼吸器外科	特任教授	28年	
小泉 圭	乳腺外科	病院講師	23年	
竹内 裕也	消化器外科	教授	32年	
犬塚 和徳	血管外科	講師	27年	
黒住 和彦	脳神経外科	教授	27年	
松山 幸弘	整形外科	教授	36年	
本田 哲也	皮膚科	教授	24年	
稲元 輝生	泌尿器科	教授	26年	
兼子 裕規	眼科	教授	22年	
三澤 清	耳鼻咽喉科	教授	29年	
伊東 宏晃	産科婦人科	教授	38年	
五島 聡	放射線科	教授	24年	
中村 和正	放射線科	教授	36年	
中島 芳樹	麻酔科蘇生科	教授	37年	
増本 一真	歯科口腔外科	教授	30年	(歯科医師免許：30年)
山内 克哉	リハビリテーション科	教授	30年	

中川 雅裕	形成外科	教授	33年
乾 直輝	臨床薬理内科	教授	31年
岩泉 守哉	検査部	准教授	24年
馬場 聡	病理診断科	病院教授	39年
澤井 利夫	小児外科	特任教授	35年
渥美 生弘	救急科	教授	28年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>看護部は、社会のニーズに応えられる大学病院の看護専門職として、倫理に基づいた、質の高い看護を提供できる創造性のある看護職の育成を目指して、研修を行っている。5段階のキャリアラダーを導入しており、各ラダーに求められる能力（看護実践能力・組織的役割遂行能力・自己教育研究能力）の習得を目標にラダー別の研修を実施している。その他に、院内認定静脈注射研修、院内認定がん看護専門教育コース、院内認定倫理コーディネーター養成コースの研修を実施している。また、全職員を対象とした、BLS、ICLS、講演会等も実施している。</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>期間：令和5年4月～令和6年3月 看護部研修：82研修 延べ研修時間：412時間</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>受講者人数：延べ6133人</p>
業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>上記 参照</p>
他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<p>・研修の主な内容</p> <p>がん看護教育コース研修</p> <p>多施設新人看護職員研修（フィジカルアセスメント呼吸・循環、BLS、摂食嚥下、褥瘡予防など）</p>

管理研修：職場管理上の課題解決研修

専門・認定看護師連絡会主催公開研修

(急変の予兆と異常の早期発見、災害看護～超急性期～、がん放射線療法看護)

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

全8回コース	延べ12時間	6人
全2回コース	延べ12時間	60人
全4回コース	延べ14時間	20人
全3回コース	延べ3時間	10人

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	松山 幸弘
管理担当者氏名	総務課長：大隅孝文 / 人事課長：川西健二 / 医事課長：服部次男 / 病院総務課長：大石真由美 医療安全管理室長：竹内裕也 / 感染制御センター長：古橋一樹 薬剤部長：川上純一 / 放射線部長：五島聡 / 手術部長・医療機器管理部長：中島芳樹 看護部長：佐々木菜名代 / 診療情報管理部長：杉本健

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院総務課
		各科診療日誌	医事課
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医事課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課
		従業者数を明らかにする帳簿	人事課
		高度の医療の提供の実績	病院総務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課・病院総務課
	規則第二十一条の三第一項に掲げる事項	高度の医療の研修の実績	病院総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部
規則第二十一条の三第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	病院総務課・医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	病院総務課・医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	病院総務課・医療安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	病院総務課・医療安全管理室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	病院総務課・感染制御センター
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	病院総務課・感染制御センター
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	病院総務課・感染制御センター
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	病院総務課・感染制御センター
	に掲げる事項	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	病院総務課・医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	病院総務課・感染制御センター
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課・診療情報管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課・診療情報管理部
		医療安全管理部門の設置状況	病院総務課・医療安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	病院総務課・医療安全管理室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	病院総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	病院総務課・医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	病院総務課・医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	病院総務課・医療安全管理室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	病院総務課・医療安全管理室
		職員研修の実施状況	病院総務課・医療安全管理室
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	病院総務課・医療安全管理室
管理者が有する権限に関する状況	病院総務課・人事課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	企画評価課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	事務局次長(総務・教育担当) 高木 雅弘
閲覧担当者氏名	総務課長 大隅 孝文
閲覧の求めに応じる場所	・総務課情報公開室
閲覧の手続の概要 独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成13年法律第140号)に基づき、国籍、住所、年齢、個人及び法人を問わず、浜松医科大学の保有する法人文書の開示を請求することができる。開示請求を受理してから、30日以内(請求の内容によってはそれ以上の日数を要する場合もある。)に開示又は不開示を決定し、開示請求者に通知する。開示請求者が開示の実施申出において閲覧を選択した場合、当該諸記録の閲覧ができる。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療に係る安全管理のための指針の整備状況	○有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安全管理に関する基本的な考え方 2 医療に係る安全管理のための委員会その他組織に関する基本的事項 3 医療に係る安全教育のための職員研修に関する基本方針 4 事故報告の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6 職員と患者との間の情報共有に関する基本方針 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 その他医療安全の推進のための必要な基本方針 	
医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（○有・無）</p> <p>・ 開催状況：年 12 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理体制の確保に関すること 医療事故等の把握、分析、対処改善、評価及び見直しに関すること 医療に係る安全管理のための職員の研修に関すること その他の医療の安全管理に関すること 	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>【医療安全講習会】 3回（全職員対象）</p> <p>【職種・部署別】 新採用職員ガイダンス：1回、新採用看護師研修：2回 看護師採用時研修：e-learning、看護助手採用時研修：e-learning、 看護助手研修：1回、静脈注射院内認定看護師研修：e-learning 新採用・中途採用職員（看護部職員以外）：e-learning 看護職員（育休復帰者）：e-learning</p>	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（○有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>収集した情報をもとに、A)外部参加型事例調査、B)院内事例調査、 C)M&Mカンファレンス、D)部署内検証レビュー、E)医療安全管理室の カンファレンス、F)医師並びに看護師GRMが検証、G)検証不要に分類し 必要なスタッフで事例検証し、問題点を分析し、改善策を立案し、 現場スタッフにフィードバックしている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

院内感染対策のための指針の策定状況	○・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策に関する管理組織機構 3. 従業者研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等への情報提供と説明に関する基本方針 7. 感染対策に関する地域医療機関との連携 8. その他院内感染対策及び抗菌薬適正使用推進のための基本方針 	
院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策の検討・推進 2. 院内感染防止の対応及び原因究明 3. 院内感染等の情報収集及び分析（抗菌薬の使用状況、分離菌種などの情報を含む） 4. 院内感染防止策及び抗菌薬適正使用等に関する従業者の教育・研修 5. 従業者の感染管理 6. その他院内感染対策に関する事項 	
従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 39 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>【院内感染対策講習会】 3回（全職員対象）</p> <p>【職種・部署別】</p> <p>研修医ガイダンス 1回（感染対策実習：手洗い、安全装置付き針の取り扱い） 新採用看護師研修 1回 77名 新採用・中途採用職員への感染対策講習 計 256名（医師144名、研修医26名、看護師7名、コメディカル46名、事務33名） 受託実習生感染対策講習 計 12部署 80名（リハビリテーション部、放射線部、検査部、病理部、手術部、薬剤部、精神科、医療機器管理部、NST、栄養部、眼科、看護キャリア開発センター） 部署別感染対策勉強会：2回（4階西病棟小児科、5階西病棟第二外科）</p> <p>【委託・派遣業者】 委託・派遣職員感染対策講習 30回（11社、計106名）</p>	
感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （○・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTラウンド（週1回）、病棟環境ラウンドおよびサニタリーラウンドによる感染対策の実施状況および環境整備の確認 ・ 耐性菌発生状況の把握とアウトブレイク介入基準に基づく介入、および血液培養陽性患者の把握と評価 ・ 広域抗菌薬、抗MRSA薬、抗真菌薬使用患者のモニタリングと抗菌薬適正使用の評価 ・ 感染対策に関する介入を要した事例の部署別ミーティングの実施 ・ 院内Web内の感染対策ホームページへの掲載、ICT NEWSの発行、感染対策情報の回覧等による感染情報の提供 ・ 院内感染対策ポケットマニュアルの作成と配布 ・ 抗菌薬適正使用支援ポケットマニュアルの作成と配布 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医薬品安全管理責任者の配置状況	①・無
従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容：ヒューマリンR注の使用について 抗菌薬適正使用（ラウンド、薬剤耐性菌） 抗菌薬適正使用（フォーミュラリー） 	
<p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成（①・無） 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 各部門にあわせたチェックシートを作成し、医薬品安全管理・使用の確認を実施している。 	
<p>医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備（①・無） 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <p>未承認薬の使用は無し。以下の適応外使用の事例があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 副腎皮質癌に対するストレプトゾシンの使用 ECHS1欠損症の患児に対するバリン制限食（ロイシン・イソロイシン・バリン除去ミルク）の使用 血管型エーラスタンロス症候群患者に対する 遮断薬（セリプロロール）投与 TSH産生下垂体腫瘍に対する薬物治療への反応性を評価するためのオクトレオチド注射液の使用 小児クローン病患者に対するリサンキズマブの投与 人工呼吸管理時の鎮静薬としてレミマゾラムを使用する 陰茎癌に対するPTX+IFM+CDDP 再発難治性松果体芽腫に対するTMZ+IRI+BEV療法 <ul style="list-style-type: none"> その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 薬剤師による処方監査・処方確認および入院患者への処方確認時に使用目的を確認し、必要に応じて疑義照会および処方確認を実施している。 病棟担当薬剤師が病棟での診療科カンファレンスに参加し患者の薬物治療について情報を収集し、適応外使用の可能性がある場合には医薬品安全管理室や医薬品情報管理室薬剤師とその都度情報を共有している。 適応外使用の予定がなされた場合、診療倫理委員会事務局から医薬品情報管理室へ個々の適応外使用のリスクについて相談する体制を取っている。医薬品情報管理室から病棟担当者や調剤室など関連する部門へ適応外使用の情報を共有している。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 105 回
<p>・ 研修の主な内容： 7種の機種（本院は診療用粒子線照射装置を持たず）を含む医療機器の有効性や安全性、使用法、保守点検、不具合発生時の報告手順、法令上遵守すべき事項の確認を中心に実施した。</p>	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 （有・無） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 機器に添付される取り扱い説明書を元に、記載された点検項目に従い点検を実施した。</p>	
医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有・無） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 集中治療室（ICU）の24時間日当直体制を実施し、一般病棟を含む医療機器に関連した問い合わせの連絡があった場合には、直ちに対応可能な体制としている。</p> <p>病棟等で使用する人工呼吸器の使用 midpoint 検を中心に、各病棟を臨床工学技士が巡回している。</p> <p>各病棟から医療機器を回収するスタッフを配置し、使用終了直後に医療機器を回収し、効率よく医療機器を運用している。</p> <p>新規医療機器購入前から、医療機器管理部スタッフ1名以上が選定に関わり、安全性や操作性等について評価して購入を行っている。</p> <p>医療機器に関する安全情報を収集し、該当する医療機器があるかを確認している。該当する機器がある場合には、医療機器管理部スタッフから関連する多職種スタッフへ情報の周知や対応のアナウンスを実施している。</p> <p>新規医療機器に関する説明会を使用するスタッフへ広く受講できる様、e-learningシステムを積極的に活用している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

医療安全管理責任者の配置状況	①・無								
<ul style="list-style-type: none"> ・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 <p>「浜松医科大学医学部附属病院医療安全管理規程」を定め統括しています。</p>									
専任の院内感染対策を行う者の配置状況	①（5名）・無								
<p>医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・情報の整理は薬剤部医薬品情報管理室にて実施している。 ・情報の周知は添付文書改訂の通知を定期的実施している。また医薬品安全性情報等の通知および当該医師への伝達、DI ニュースの発行などを必要に応じて実施している。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・未承認薬等による治療が必要になった場合、治療を実施する医師は薬剤部に照会する。また、病棟担当薬剤師が各部署への照会を仲介する体制もできている。 ・病棟業務や調剤時などに薬剤師が確認した際は医師に疑義照会などを実施している。 ・未承認等の医薬品（院内製剤を含む）の使用にあたって、薬剤管理委員会（未承認新規医薬品の担当部門）は、評価委員会からの意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の適否、使用条件等について決定し、病院長の承認を得る。また、未承認新規医薬品等使用状況について事後検証し、その内容について病院長に報告する。 ・担当者の指名の有無（①・無） ・担当者の所属・職種： <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）</td> <td style="width: 50%;">（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> </table> 		（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）
（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	①・無								
<ul style="list-style-type: none"> ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （①・無） ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 									

<p>：各診療科より約3冊ずつピックアップしたサンプル調査を実施（無作為抽出）、医療者の同席率とIC後の反応の記録について調査し、診療情報管理委員会にて報告を行った。</p>	
<p>診療録等の管理に関する責任者の選任状況</p>	<p>有・無</p>
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 全症例について、入院診療計画書、手術記録、退院時要約、手術説明書・同意書、麻酔記録、アレルギー情報を確認。さらに多職種（医師、看護師、薬剤師、事務）による診療記録監査（入院診療計画書、診療録、看護記録、薬剤記録、退院時要約、手術記録、説明同意書）をサンプル調査にて実施。診療情報管理委員会にて報告を行った。</p>	
<p>医療安全管理部門の設置状況</p>	<p>有・無</p>
<p>・所属職員：専従（ 3 ）名、専任（ 4 ）名、兼任（ 12 ）名 うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 4 ）名 うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ 1 ）名、兼任（ 0 ）名 うち看護師：専従（ 1 ）名、専任（ 2 ）名、兼任（ 2 ）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容： 医療事故及びインシデントの収集、調査、分析に関すること。 医療事故防止対策の立案及び周知に関すること。 リスクマネージャーとの連絡調整に関すること。 医療事故防止に係る病院内の巡視・点検・評価に関すること。 医療事故防止に係る教育・研修・啓発の立案に関すること。 医療事故防止対策マニュアルの作成に関すること。 医療事故等に係る診療録等記載の確認、指導に関すること。 医療事故等に係る対応状況の確認、指導に関すること。 病院医療安全管理委員会の庶務に関すること。 医療安全に資する診療の状況の把握及び職員の医療安全の認識の状況の確認に関すること。 【モニタリングの具体例】 ・放射線診断重要レポートに対し検査を依頼した医師が対応したかのモニタリング ・中心静脈挿入時のチェックリスト ・コードブルー発生件数</p> <p>平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
<p>高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況</p>	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 13 件）、及び許可件数（ 12 件） ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ） ・活動の主な内容：</p>	

病院で行う新規医療技術の導入の申請に対し倫理的・科学的妥当性について審査、確認及び事後検証を行う。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 無)

未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (0 件)、及び許可件数 (0 件)
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 無)
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 無)

・ 活動の主な内容 :

当院では薬剤部・薬剤管理委員会を未承認新規医薬品等の担当部門としており、「当院で使用したことのない医薬品であって、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律における承認または認証を受けていないもの」の導入に際して、以下の項目について審査を行っている。

- ・ 当該未承認新規医薬品等と既存の医薬品とを比較した場合の優位性 (予測される有害事象の重篤性、頻度等の安全性等の観点を含む。)
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件 (使用する医師又は歯科医師の制限等)
- ・ 当該未承認新規医薬品等の使用に起因するものと疑われる有害事象の把握の方法
- ・ 患者へのインフォームド・コンセントの方法

薬剤管理委員会での審議にあたり、未承認新規医薬品評価委員会を立ち上げて意見書を作成し、薬剤管理委員会へ提出している。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 無)

入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況 : 年 323 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったも

<p>のとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 75 件</p> <p>・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 収集した情報をもとに、A)外部参加型事例調査、B)院内事例調査、C)M&Mカンファレンス、D)部署内検証レビュー、E)医療安全管理室のカンファレンス、F)医師並びに看護師GRMが検証、G)検証不要に分類し、必要なスタッフで事例検証、問題点を分析、改善策を立案し現場スタッフにフィードバックしている。</p>
<p>他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <p>・他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="radio"/>有）（病院名： 秋田大学医学部附属病院 ）・無）</p> <p>・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="radio"/>有）（病院名： 琉球大学病院 ）・無）</p> <p>・技術的助言の実施状況</p> <p>助言：高難度新規医療技術のインフォームドコンセントについて、厚生労働省が推奨するガイドラインに則った項目を説明同意書へ明記し、同意を取ることが望ましい。</p> <p>改善：院内統一の説明同意書様式に、医療機関における過去の実績、設備・体制の整備状況、術者の専門的資格と経験、当該医療の有効性・合併症の重毒性・発生の可能性当の安全性の項目を必須記載とした。</p>
<p>当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <p>・体制の確保状況</p> <p>医療安全患者相談窓口：医療安全管理室</p> <p>責任者：医療安全管理室長</p> <p>担当者：ゼネラルリスクマネージャー（GRM）及び医事課医療安全推進係長</p>

<p>職員研修の実施状況</p> <p>・研修の実施状況</p> <p>【医療安全講習会】</p> <p>3回（全職員対象）</p> <p>【職種・部署別】</p> <p>新採用職員ガイダンス：1回、新採用看護師研修：2回</p> <p>看護師採用時研修：e-learning、看護助手採用時研修：e-learning、</p> <p>看護助手研修：1回、静脈注射院内認定看護師研修：e-learning</p> <p>新採用・中途採用職員（看護部職員以外）：e-learning</p> <p>看護職員（育休復帰者）：e-learning</p>
--

（注）前年度の実績を記載すること（ の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者 令和6年2月6日 2023年度特定機能病院管理者研修（継続3.5時間）

医療安全管理責任者 令和6年2月6日 2023年度特定機能病院管理者研修（継続3.5時間）

医薬品安全管理責任者 令和6年1月15日 2023年度特定機能病院管理者研修（継続3.5時間）

医療機器安全管理責任者 令和5年12月15日 2023年度特定機能病院管理者研修（継続3.5時間）

（注）前年度の実績を記載すること

医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

令和5年12月に日本医療機能評価機構の病院機能評価「一般病院3 <3rdG:Ver.3.0>」を受審した。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

本院のホームページに認定証を掲載し、日本医療機能評価機構のホームページに掲載されている審査結果が閲覧できるようリンクを貼っている。

・評価を踏まえ講じた措置

C評価とされたBLS研修について、改善に向けた取り組みを進めており、今後確認審査を受審予定（申請中）である。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 医師免許を有している者 2. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 3. 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 4. 本学及び本院の理念に基づいた病院運営を遂行できる者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ 公表の方法 大学ホームページにおいて公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ 公表の方法 大学ホームページにおいて公表 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	特別の関係
山本 清二	浜松医科大学		医学部附属病院長候補者選考会議 規程第3条第1号に基づく学長が 指名する理事又は副学長。	有 <input checked="" type="radio"/> 無
渡邊 裕司	浜松医科大学		医学部附属病院長候補者選考会議 規程第3条第1号に基づく学長が 指名する理事又は副学長。	有 <input checked="" type="radio"/> 無
須田 隆文	浜松医科大学医学 部 内科学第二講座		医学部附属病院長候補者選考会議 規程第3条第2号に基づく教授及 び准教授で構成される会議からの 選出。	有 <input checked="" type="radio"/> 無
中島 芳樹	浜松医科大学医学 部 麻酔・蘇生学講座		医学部附属病院長候補者選考会議 規程第3条第3号に基づく病院運 営企画室会議からの選出。	有 <input checked="" type="radio"/> 無

紀平 幸一	静岡県医師会		医学部附属病院長候補者選考会議 規程第3条第4号に基づく学長が 委嘱する学外有識者医療・保健・ 福祉全般に豊富な知見を有してい るため。	有・無
御室 健一郎	浜松いわた信用金 庫		医学部附属病院長候補者選考会議 規程第3条第4号に基づく学長が 委嘱する学外有識者。 法人経営や地域の経済・社会につ いて豊富な知見を有しているた め。	有・無
毛利 博	静岡県病院協会		医学部附属病院長候補者選考会議 規程第3条第4号に基づく学長が 委嘱する学外有識者。 医療・保健・福祉全般に豊富な知 見を有しているため。	有・無

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 病院運営における中期目標、中期計画に関する事項（進捗状況のモニタリングを含む。） 病院予算、業務実績報告に関する事項 その他病院運営に関する事項 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 診療科長会議で報告を行っている。院内ホームページに議事内容を掲載している。 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 (無) ） ・ 公表の方法 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ 有 (無) ） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (を付す)	職種	役職
松山 幸弘		医師	病院長
前川 裕一郎		医師	副病院長（経営戦略担当）
中島 芳樹		医師	副病院長（運営・管理担当）
竹内 裕也		医師	副病院長（リスクマネジメント担当）
佐々木菜名代		看護師	副病院長（患者サービス担当）
三澤 清		医師	副病院長（渉外・広報担当）
杉本 健		医師	第一内科主任診療科長
宮入 烈		医師	小児科診療科長
船井 和仁		医師	呼吸器外科診療科長
黒住 和彦		医師	脳神経外科診療科長
伊東 宏晃		医師	産科婦人科診療科長
五島 聡		医師	医療放射線安全管理室長
安田 日出夫		医師	医療福祉支援センター長
川上 純一		薬剤師	薬剤部長
増本 一真		歯科医師	歯科口腔外科診療科長
西村 敏信		事務	事務局次長（病院担当）

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 無 ）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容
病院長は、病院の業務を総括する。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
副病院長（経営戦略担当）
副病院長（運営・管理担当）
副病院長（リスクマネジメント担当）
副病院長（患者サービス担当）
副病院長（渉外・広報担当）
病院長特別補佐（医療DX推進担当）
病院長特別補佐（地域貢献担当）

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
毎年1回開催される以下の会議・勉強会・研修会等に職員を参加させ、
病院のマネジメントを担う人員の育成に努めている。
 - ・ 近畿・中部地区病院経営企画担当事務職員研修会
 - ・ 近畿・中部地区附属病院経営担当課長等会議
 - ・ 国立大学附属病院経営分析ワークショップ
 - ・ 国立大学附属病院課長補佐級研修会
 - ・ 国立大学附属病院係長級研修会
 - ・ 国立大学附属病院主任級研修会
 - ・ 国立大学附属病院初期研修会
 - ・ 国立大学附属病院若手職員研修会（医療訴訟等含む）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・活動の主な内容： 本院の安全管理体制について外の委員も含めた委員で監査・評価を実施する。</p> <p>・監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・公表の方法： 病院ホームページにおいて公表</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
熊田 恵介	岐阜大学医学部附属病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有 (無)	1
坪佐 恭宏	静岡県立静岡がんセンター		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有 (無)	1
小島 崇宏	大阪 A & M 法律事務所		法律に関する識見を有する者	(有)・無	1
大磯 義一郎	浜松医科大学		法律に関する識見を有する者	(有)・無	1
左右田 泰丈	曹洞宗 瑞生寺		医療を受ける者	有 (無)	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

内部統制システム推進責任者（病院長）は、附属病院の業務における内部統制システム（法令等に適合するための体制及びその他業務の適正を確保するための体制）の整備及び運用を推進するとともに、その整備及び運用状況について、内部統制担当役員等に定期的に報告を行うものとしており、内部統制担当役員等は、内部統制上の重大な問題を発見し、又は報告を受けたときは、速やかに適切な対応を行うとともに、内部統制最高管理責任者（学長）及び内部統制統括管理責任者（理事（企画・評価担当））に報告し、併せて再発防止措置を講ずるものとしている。また、内部統制統括管理責任者から内部統制システムの運用状況が、定期的に役員会に報告され、内部統制システムの整備と継続的な見直しが行われている。

- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法

大学ホームページにおいて公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

- ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況
 国立大学法人法に基づき、大学法人の経営に関する重要事項を審議する機関として経営協議会を置いている。当協議会は、外部有識者の諮問会議の性質を有するもので、大学法人経営の大きなウエイトを占める附属病院の管理運営に関しても意見・助言等を受けている。
- ・ 会議体の実施状況（ 年4回 ）
- ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（ 年4回 ）
- ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ）
- ・ 公表の方法
 規程は公表していないが、運営の透明性を担保するため、協議会の開催状況、審議内容、議事録等を大学ホームページで公開している。

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人浜松医科大学経営協議会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (を付す)	利害関係
今野 弘之	学長	○	<input checked="" type="radio"/> 有・無
渡邊 裕司	理事(教育・研究担当)		<input checked="" type="radio"/> 有・無
須田 隆文	理事(企画・評価担当)		<input checked="" type="radio"/> 有・無
河本 雅弘	理事(財務担当)		<input checked="" type="radio"/> 有・無
齊藤 薫	理事(経営担当)		<input checked="" type="radio"/> 有・無
松山 幸弘	副学長(病院担当)		<input checked="" type="radio"/> 有・無
岡部 比呂男	公益財団法人浜松交響楽団 顧問		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
加陽 直実	一般社団法人静岡県医師会 会長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
布村 幸彦	元 文部科学省高等教育局長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
星長 清隆	学校法人藤田学園 理事長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
正木 治恵	千葉大学大学院看護学研究院 副学長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
御室 健一郎	浜松いわた信用金庫 会長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
毛利 博	公益社団法人静岡県病院協会 会長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 · <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 · <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 · <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 大学のホームページ、医療安全委員会、医療安全管理マニュアル、医療安全ポケットマニュアル、病院ポータルサイト等において周知している。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類(任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>(1) 広報誌による情報発信 病院案内(年1回発行) 「はんだ山の風」(年4回発行)</p> <p>(2) 市民公開講座等による情報発信 浜松医科大学主催「公開講座」 浜松医科大学主催 地域貢献事業「市民公開講座」 静岡肝疾患診療連携拠点病院主催で「市民公開講座」(年3回)を実施している。 静岡県アレルギー疾患医療拠点病院主催で「市民公開講座」(年1回)を実施している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>(1) 緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、呼吸ケアサポートチーム、精神科リエゾンチーム、栄養サポートチームによるチーム医療を提供している。</p> <p>(2) 感染対策室、医療安全管理室、医療福祉支援センター(がん相談、肝疾患相談、難病相談、退院支援)等多職種が参加した診療・ケアを実施している。</p>	